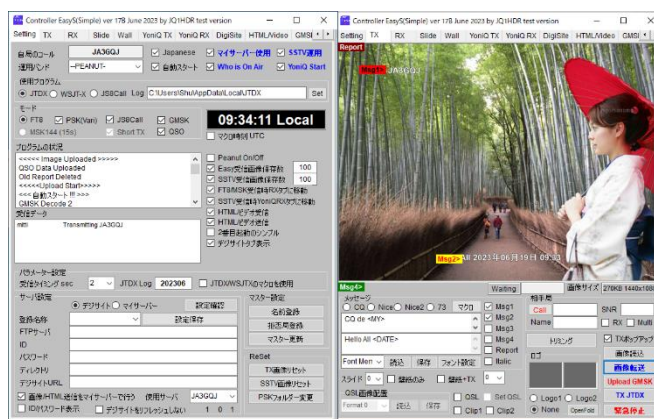


2023年7月14日

# Image Controller Easy Simple 使用体験記

Image controller Easy Simple は JQ1HDR 大和さんが開発した文字通信ソフト (JTDX, WSJTX, Vari Image Front) や MMSSTV・YoniQ、EZPix を制御して画像交換 QSO をするための非常に多機能な優れたソフトであると理解している。沢山のソフトを楽しませて頂いているが加齢 (81才) のため物忘れが激しく、あるソフトをしばらく使わないと、いざ使用を再開すると所々操作手順を忘れていた事が度々ある。そこで操作の手順の体験を記録する事にした。



JA3GQJ

# 目次

1.使用環境 .....	3
1-1 FTP サーバー .....	3
1-2 パソコン .....	3
1-3 Digi Site .....	3
1-4 Peanut .....	3
1-6 Discord .....	3
1-7 Yaesu FT-991 .....	3
2. 使用準備 .....	4
3. Image controller Easy Simple のタグ数の合計と機能 .....	4
4. Setting タグの初期設定 .....	5
4-1 マイサーバー設定について .....	6
4-2 その他チェックマークを付けた項目 .....	10
5.多様な運用形態 .....	10
6. 受信 .....	11
6-1. RX タグの各項目について .....	11
6-2. YoniQRX タグの各項目について .....	14
6-3. Digisite タグの各項目について .....	16
6-4. ETC タグの各項目について .....	17
7. 送信 .....	20
7-1 TX タグの各項目について .....	20
7-3 HTML/Video タグの各項目について .....	30
HTML を扱う場合 .....	30
Video を扱う場合 .....	34
音楽を扱う場合 .....	35
7-4 GMSK タグ .....	36
GIF アニメと HTML を扱う .....	36
アニメーション用画像作成 .....	39
7-5 YoniQ TX タグの各項目 .....	41
YoniQ 用画像準備 .....	41
APPENDIX-1 .....	44
ソフトインストールと初期設定 .....	44
APPENDIX-2 .....	52
MMSSTV・YoniQ のフォルダーのディレクトリー変更 .....	52
APPENDIX-3 .....	54

Slide タグと Wall タグについて.....	54
<b>1. Slide タグ</b> .....	54
HTML 用画像準備の例-1 .....	55
HTML 用画像準備の例-2 .....	56
<b>2. Wall タグ</b> .....	59
壁紙を作る 1.....	59
壁紙を作る 2.....	62
<b>APPENDIX-4</b> .....	65
運用組み合わせスクリーンショット .....	65

## 1.使用環境

### 1-1 FTP サーバー

送受信画像保存の為の Image Controller Easy Simple を使用する要であり、無料のレンタルサーバーを使用する。詳細は[ここをクリックして開く](#)別冊「Image Controller Easy simple 用 ftp サーバーについて」を参照。

### 1-2 パソコン

OS Windows10  
プロセッサ Intel(R) Core(TM) i3-4150 CPU @ 3.50GHz  
実装 RAM 4.00 GB  
システムの種類 64 ビット オペレーティング システム

### 1-3 Digi Site

受信画像を一般に公開する為のソフト。詳細は[ここをクリックして開く](#)別冊「Digi Site 使用体験記」を参照

### 1-4 Peanut

Image Controller Easy Simple をインターネットで使用する為の通信手段。  
詳細は[ここをクリックして開く](#)別冊「Peanut で画像通信」を参照。

### 1-5 Client Peanut

Image Controller Easy Simple をインターネットで使用する為の通信手段。  
詳細は[ここをクリックしたら開く](#)別冊「Client Peanut で画像通信」を参照。

### 1-6 Discord

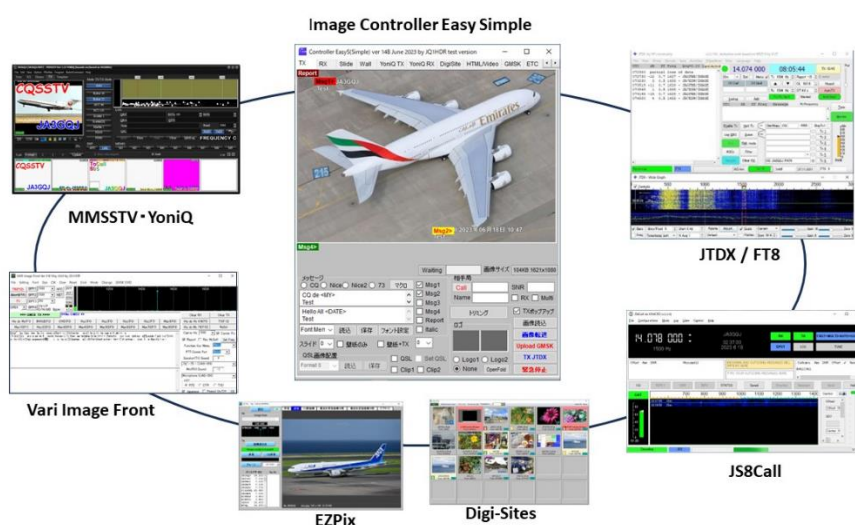
Image Controller Easy Simple をインターネットで使用する為の通信手段。  
詳細は[ここをクリックしたら開く](#)別冊「Discord について」を参照。

### 1-7 Yaesu FT-991

オンエアで Image Controller Easy Simple を使用する画像（文字）通信ソフトが走るパソコンとトランシーバをUSBケーブルで繋いで使用する。USBケーブルを使う方法は、Yaesu FT-991 の取説やインターネットの JTDX (WSJTX) の FT8 設定などの記事を参照。



## Image Controller Easy Simple でコントロールするデバイスとソフト



## 2. 使用準備

[ここをクリックして開く](#) 巻末の「APPENDIX-1」を参照して Image Controller Easy Simple のインストールと初期設定を行う。

## 3. Image controller Easy Simple のタグ数の合計と機能

### Setting タグ

Image controller Easy Simple の機能を 100% 利用するための初期設定を行う。

### TX タグ

JTDX(FT8)、JS8call、Vari image Front, などで扱う送信画像をこのタグの画面に取り込み文字を入れたり、トリミングなど加工をして送信する準備を行う。

### RX タグ

JTDX(FT8)、JS8call、Vari image Front, などで扱う受信画像をこのタグの画面に表示する。受信画像をデジサイトにアップロードする設定もここで行う

### Slide タグ

[ここをクリックして](#)、巻末の APPENDIX-3 を参照

### Wall タグ

[ここをクリックして](#)、巻末の APPENDIX-3 を参照

### YoniQ Tx タグ

MMSSTV・YoniQ で扱う送信画像をこのタグの画面に取り込み、加工して MMSSTV・YoniQ へ転送する準備を行う。

### YoniQ Rx タグ

MMSSTV・YoniQ で扱う受信画像をこのタグの画面に表示する。受信画像をデジサイト

にアップロードする設定もここで行う。

#### DigiSite タグ

(DigiSites) 登録指定局が受信した画像をこのタグで見ることが出来る。

#### HTML/Video タグ

JTDX(FT8)、JS8call、Vari image Front,などで扱う HTML、ビデオ、音楽などをこのタグに取り込んで送信する準備を行う。

#### GMSK タグ

W3WVG Richard さんが最近開発したソフト EZPix ([ここをクリック](#)) と連携するための設定をここで行う → 使用画像サーバー枠に Setting タグのマイサーバーのデータを入力する。EZPix を使わないときは GMSK Log Dir 以外はスキップ。

#### ETC タグ

各モードの受信音の設定、ログ作成の設定、受信 HTML の保存などの設定を行う。

### 4. Setting タグの初期設定

インストールと初期設定が終わるとデスクトップにアイコン (図 4-1) が出来る → そのアイコンをクリック → Image Controller Easy Simple (図 4-2) が起動する → ※1

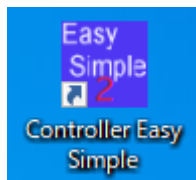


図 4-1

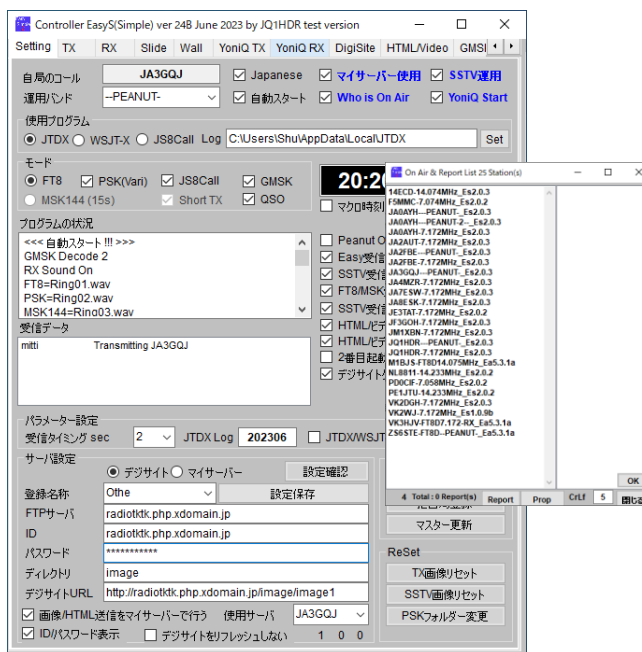


図 4-2

※1 → 起動時は Setting タグの画面になっている。このほかに TX, RX, Slide, Wall, , YoniQ Tx, YoniQ Rx, DigiSite, CMSK, HTML/Video、ETC 十種類のタグがある。

「オンエアリスト」(On air & Report List) もポップアップしその局数も表示されている。

#### 4-1 マイサーバー設定について

Image Controller Easy Simple のポイントはレンタル FTP サーバーの設定にある。

レンタル FTP サーバーがなくても画像通信は出来る。しかし、ソフトの持つ機能を十分に発揮させるためにはレンタル FTP サーバーがあったほうが良いで私は使っている。

#### デジサイトサーバーの設定

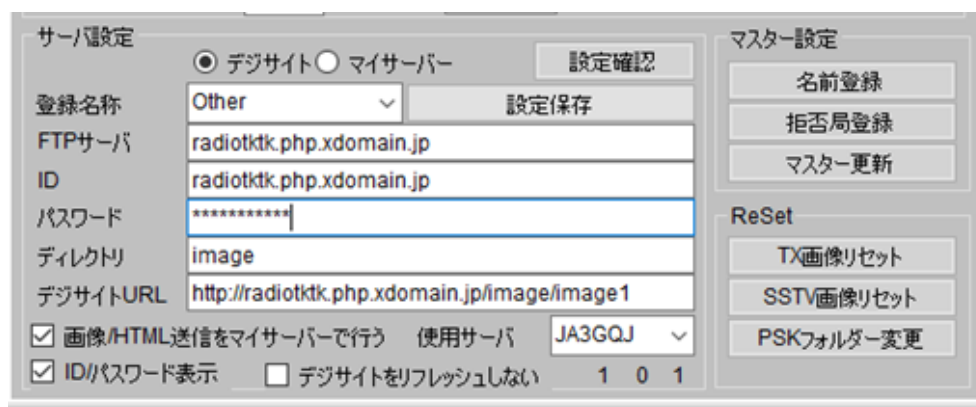


図 4-3

登録名称 = Other

自由に決められると思うがプルダウンメニューから選んだ。

FTP サーバー = radiotkk.xdomain.jp

[ここをクリックして開く](#) 別冊「Image Controller Easy simple 用 ftp サーバーについて」でコールサインを使うように説明しているが私は「radiotkk」を使った。

ID = radiotkk.xdomain.jp

[ここをクリックして開く](#)、別冊「Image Controller Easy simple 用 ftp サーバーについて」にあるように FTP サーバーと同じデータを入力する。

パスワード = \*\*\*\*\*

[ここをクリックして開く](#)、別冊「Image Controller Easy simple 用 ftp サーバーについて」にあるように自分で決めたものを使う。

ディレクトリー = image

[ここをクリックして開く](#)、別冊「Image Controller Easy simple 用 ftp サーバーについて」にあるようにサーバーに自分で image というフォルダーを作った。フォルダーを作らなければここはスキップして空白でよい。

登録 URL = http:// radiotktk.xdomain.jp/image/image1

FTP サーバー、ID、ディレクトリーがデジサイトサーバーの URL を構成するのでこれらのデータに間違いがあると受信画像がデジサイトにアップロードされない。最後の「image1」は受信画像に付けるファイル名でデジサイトソフトの決め事である。フォルダーを作らなければ URL は http:// radiotktk.xdomain.jp/image1 になる。

#### マイサーバーの設定

サーバ設定	<input type="radio"/> デジサイト <input checked="" type="radio"/> マイサーバー	設定確認
登録名称	JA3GQJ	設定保存
FTPサーバ	radiotktk.php.xdomain.jp	
ID	radiotktk.php.xdomain.jp	
パスワード	*****	
ディレクトリ	IMAGE	
登録URL	http://radiotktk.php.xdomain.jp/IMAGE/	
<input checked="" type="checkbox"/> 画像/HTML送信をマイサーバーで行う	使用サーバ	JA3GQJ
<input checked="" type="checkbox"/> ID/パスワード表示	<input type="checkbox"/> デジサイトをリフレッシュしない	1 1 1

マスター設定

名前登録  
拒否局登録  
マスター更新

ReSet

TX画像リセット  
SSTV画像リセット  
PSKフォルダー変更

図 4-4

登録名称 = JA3GQJ (自分のコールサインにした。)

FTP サーバー = radiotktk.xdomain.jp (デジサイトサーバーと同じ)

ID = radiotktk.xdomain.jp (デジサイトサーバーと同じ)

パスワード = \*\*\*\*\* (デジサイトサーバーと同じ)

ディレクトリー = IMAGE

JPEG、GIF、HTML、MP4、MP3 等、送信専用ファイルを保存するためのフォルダーで、受信画像と区別するために作った。

登録 URL = http:// radiotktk.xdomain.jp/IMAGE/

受信画像は受信ごとにファイル (ファイル名 image1~image30) が増えていくが送信専用ファイルは画像の中身が変わってもファイル名は変わらない。ファイルは増えることがないので受信用 URL のように image1 というファイル名は無用である。

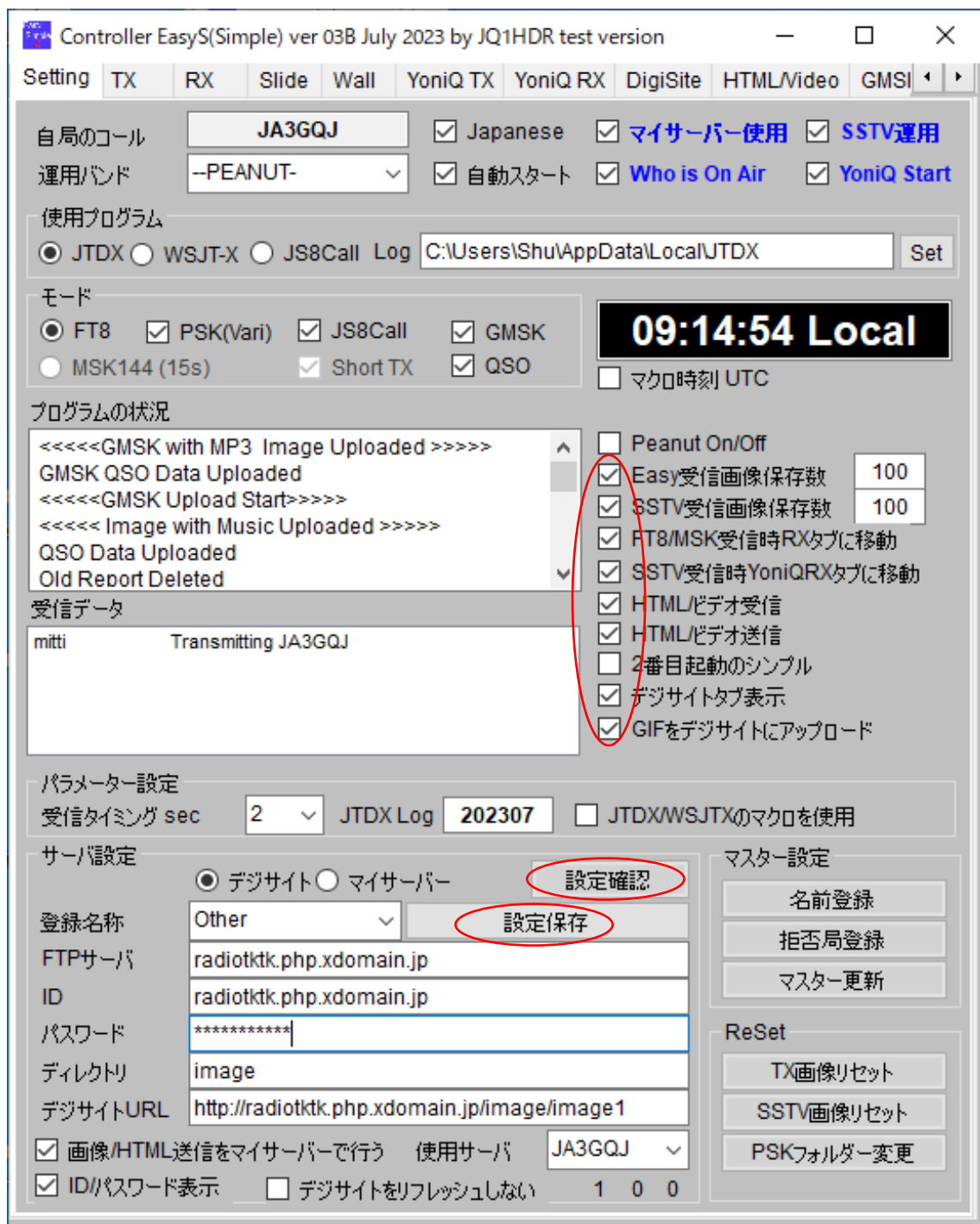


図 4-5

設定保存ボタン

デジサイトサーバーとマイサーバーの入力データを保存するボタンである。

設定確認ボタン

デジサイトサーバーとマイサーバーの入力データをチェックするボタンである。ボタンをクリックすると図 4-6 がポップアップする → ※1

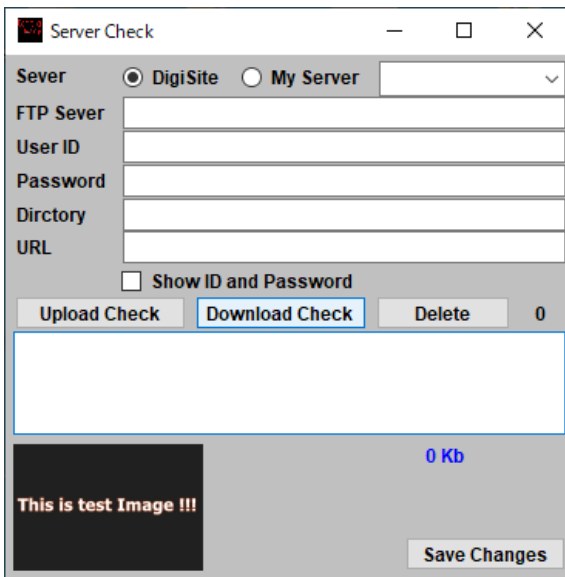


図 4-6

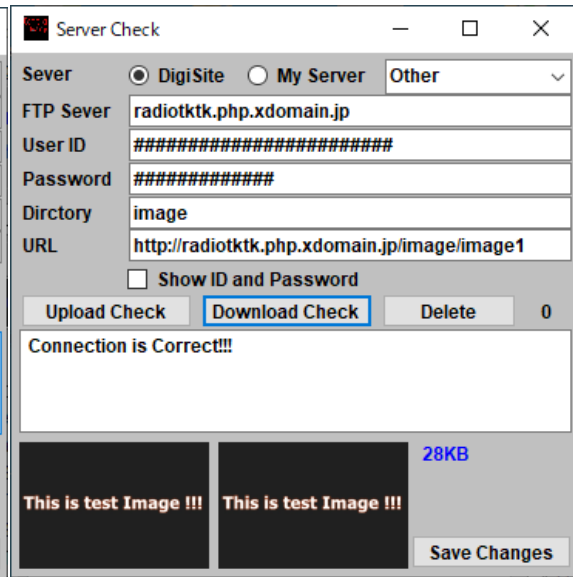


図 4-7

※1 → ラジオボタンが DigiSite サーバーを選択していることを示している → 右のプルダウンメニューから登録名の Other を選択すると図 4-7 の画面になる。 → 「Upload Check」ボタンをクリックする → そして「Download Check」ボタンをクリックする → 「Connect is Correct」の文字が表示される → その下に 28 キロバイトの「This is test Image」が並ぶ → デサイトサーバーの入力データが正しい事を示している。

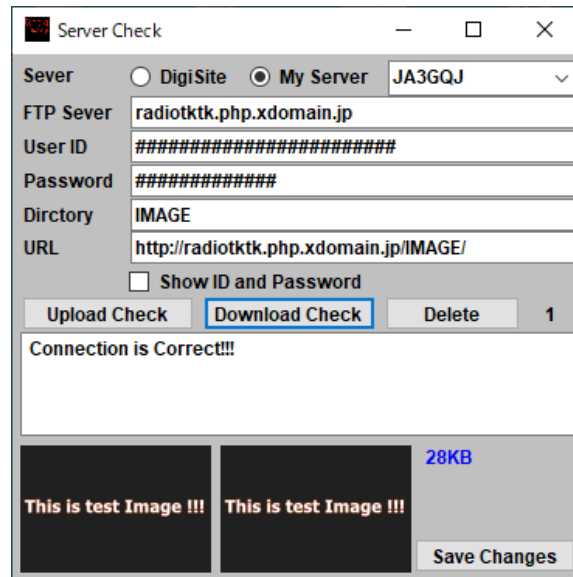


図 4-8

ラジオボタンで My Server を選択して → 右のプルダウンメニューから登録名の JA3GQJ を選択すると図 4-8 の画面になる → あとは DigiSite サーバーと同じ手順で同じ結果が得られれば、マイサーバーの入力データが正しい事を示している。

#### 4-2 その他チェックマークを付けた項目

Setting タグで「Easy 受信画像保存数」、「SSTV 受信画像保存数」、FT8/MSK 受信時 RX タグに移動)、[SSTV 受信時 YoniQRX タグに移動]、「HTML ビデオ受信」、「HTML ビデオ受信」、「デジサイトタブ表示」の7項目にチェックマークを付けた。7ページ(図4-5)の通り。

### 5.多様な運用形態

Image Controller Easy Simple は JTDX(FT8)、JS8call、Vari image Front,など複数の文字通信ソフトや MMSSTV・YoniQ をコントロールするのでそれぞれのソフトとの組み合わせで運用される。図5は FT8 を Peanut で運用する体系図である。

図5の JTDX を WSJTX、Vari Image Front や MMSSTV・YoniQ と置き換えたり、Peanut を Client Peanut や Discord と置き換えて考えると、インターネットに於いてパソコンだけで非常に多くの運用形態を楽しむことができる。Image Controller Easy Simple で運用中のパソコンデスクトップのスクリーンショットを、[ここをクリック](#)したら開く巻末の「APPENDIX-4」にまとめた。

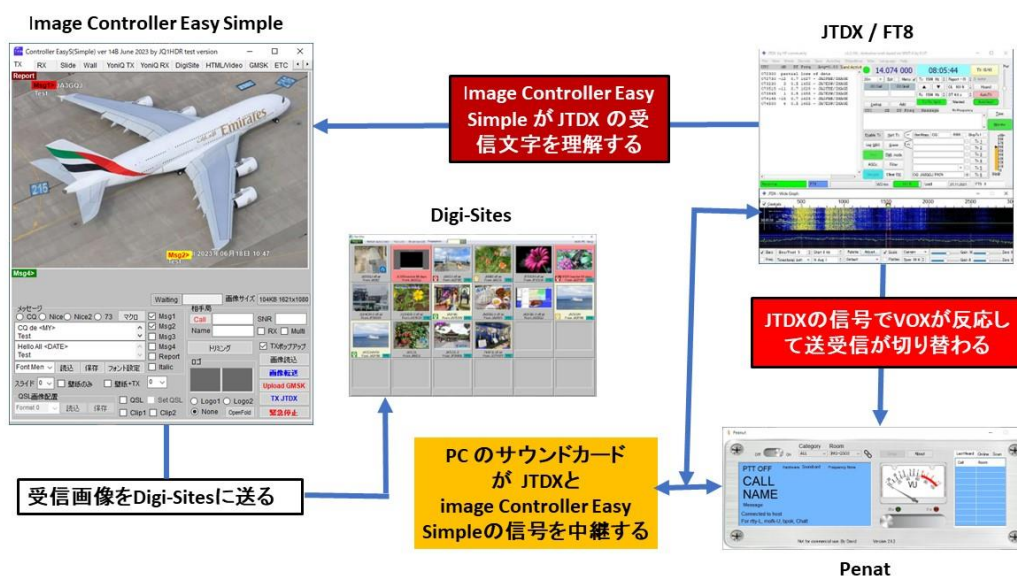


図5



## 6. 受信

### 6-1. RX タグの各項目について

[ここをクリックしたら開く](#) 巻末の「APPENDIX-4」のスクリーンショットのように運用したいソフトを走らせて待ち受けて、スクリーンに MFSK, GMSK, FT8 モードで送られた画像を受信して表示する。デジサイトにもアップされる。



図 6-1

### 受信画像枠



図 6-2



5 コマの受信画像のサムネイルが表示される。新しく画像を受信したら今まで上のスクリーンに表示された画像が子のサムネイルの先頭に来て（図 6-2）5 番目の画像は押し出され、ここには故根に 5 コマの画像が表示される（図 6-3）。各サムネイルをクリックしたら画像が拡大表示される。

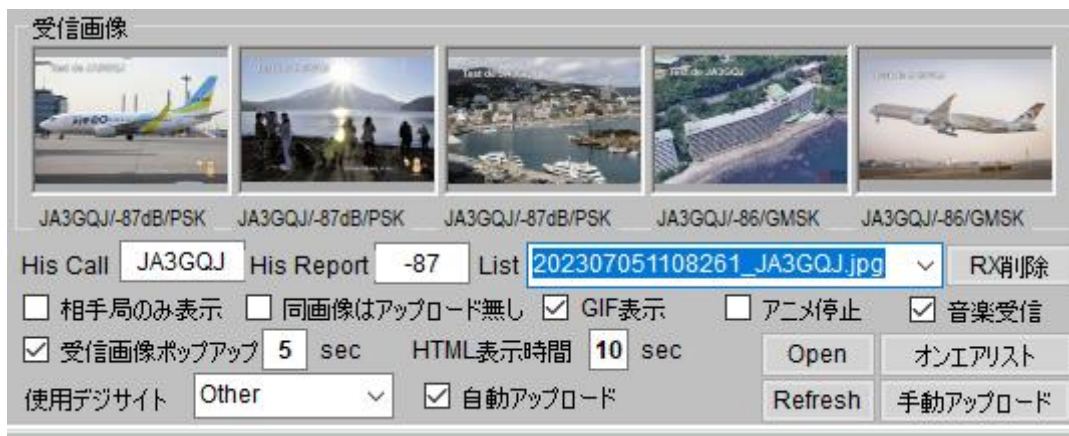


図 6-3

#### His Call, His Report

送信局のコールサインとレポートを表示する。

#### List

プルダウンメニューで今迄に受信した相手局の一覧が表示される

#### RX 削除ボタン

リストで選択した画像を削除する。

#### 相手局のみ表示

??????????

#### 同画像はアップロード無し

チェックマークを付けると、続けて同じ画像を受信した場合はデジサイトにアップロードしない。

#### GIF 画像表示

チェックマークを付けて受信 GIF 画像を表示する。

#### アニメ停止

チェックマークを付けると受信 GIF 画像の動きが止まる。チェックを外すと動く。

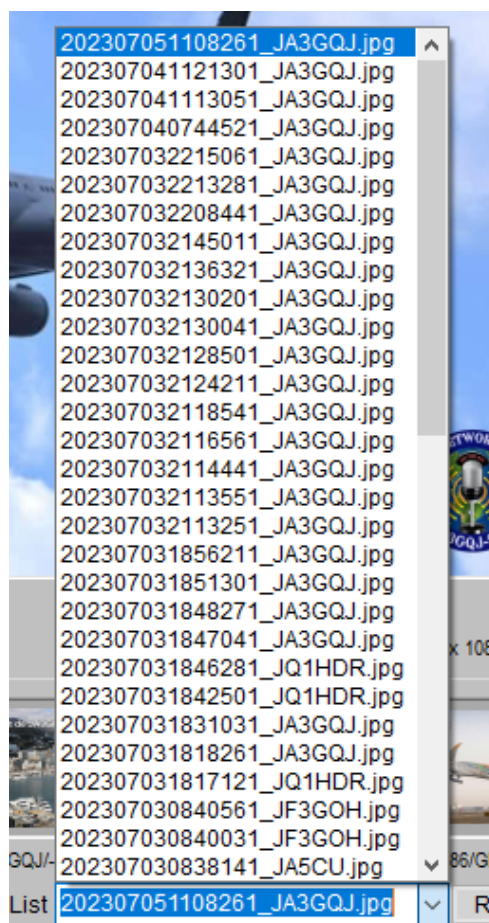


図 6-4

## 音楽受信

チェックマークを付けると相手が画像と一緒に送った音楽も受信できる。

## 受信画像ポップアップ

右の数字の時間（秒）だけ受信画像がポップアップする。時間は手入力に変更できた。

## HTML 表示時間

右の数字の時間（秒）だけ受信 HTML がポップアップする。時間は手入力に変更できた。

## Open ボタン

C:\¥ Controller\_EasySimple¥RX が開いて受信画像ファイルの一覧が見える。

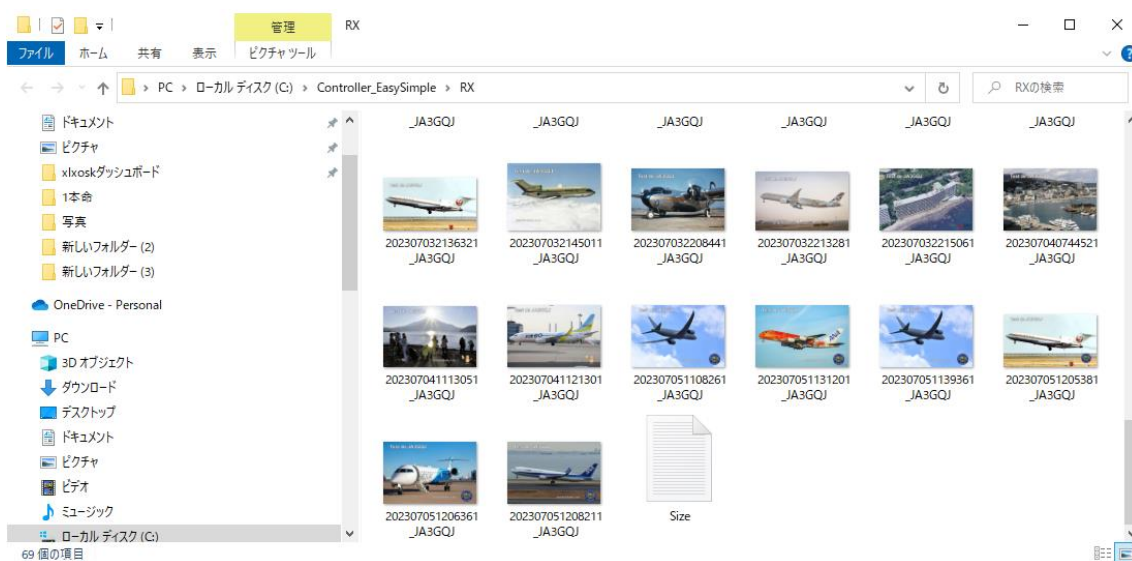


図 6-5

## オンエアリストボタン

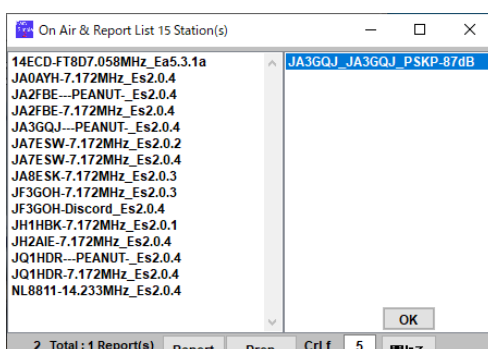


図 6-6

## 使用デジサイト

Setting タグのサーバー設定のデジサイトの登録名称を入力する。

## 自動アップロード

チェックマークを付けたら受信画像が自動的にデジサイトにアップロードされる。

## Refresh ボタン

??????????

## 手動アップロードボタン

このボタンをクリックしたら受信画像をデジサイトにアップロードする。

## 6-2. YoniQRX タグの各項目について

MMSSTV・YoniQ の受信画像 (図 6-2-1) は Image Controller Easy simple の YoniQ RX タグのスクリーンに表示 (図 6-2-2) されてデジサイトにもアップされる。

しかし、MMSSTV・YoniQ の画像を保存するフォルダーのディレクトリを、[ここをクリックして開く](#) APPENDIX-2 の通り変更する必要があった。

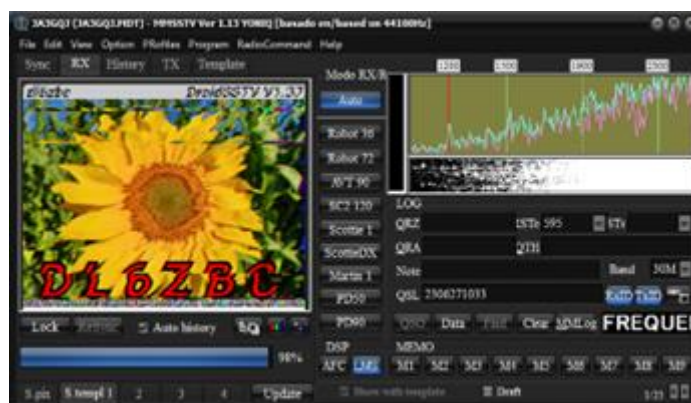


図 6-2-1



図 6-2-2

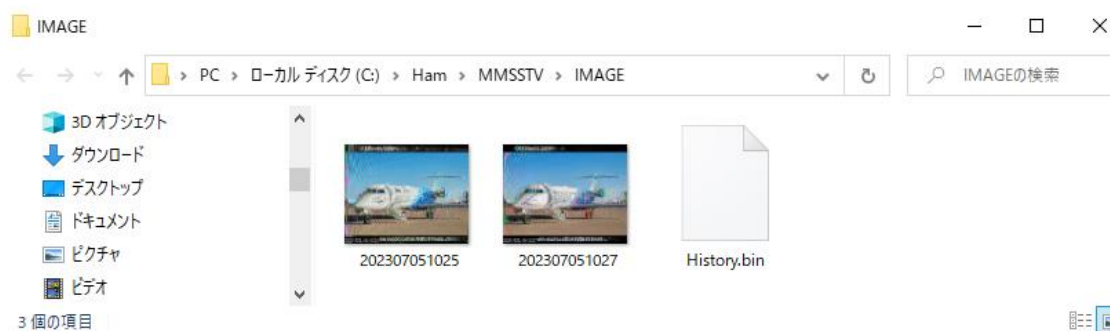
## 受信画像枠

5 コマの受信画像のサムネイルが表示される。新しく画像を受信したら今まで上のスクリーンに表示された画像が子のサムネイルの先頭に来て (図 6-2) 5 番目の画像は押し出され、ここには故根に 5 コマの画像が表示される (図 6-3)。各サムネイルをクリックしたら画像が拡大表示される。



## Open RX Folder ボタン

C:\¥Ham¥MMSSTV¥IMAGE が開いて受信画像ファイルの一覧が見える。



## Refresh ボタン

??????????

## 受信レポート

チェックマークを付ける

## RX 削除ボタン

左のリストで選択した画像を削除する。

## 使用デジサイト

Setting タグのサーバー設定のデジサイトの登録名称を入力する。

## 自動アップロード

チェックマークを付いたら受信画像が自動的にデジサイトにアップロードされる。

## 手動アップロードボタン

このボタンをクリックしたら受信画像をデジサイトにアップロードする。



### 6-3. Digisite タグの各項目について

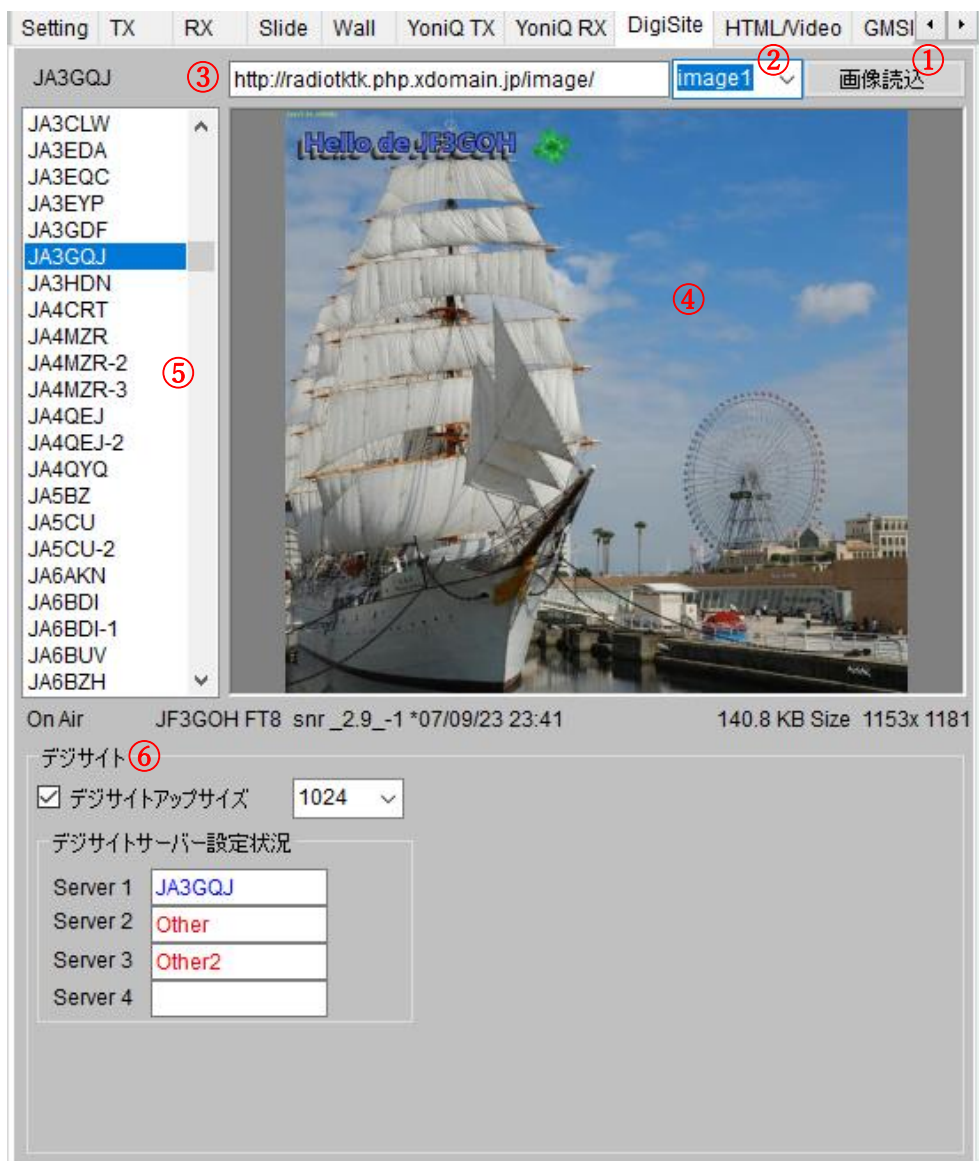


図 6-3-1

図 6-3-1 の①はデジサイト登録局のリストである。コールサインを選択したら②に当該局のデジサイト URL が表示される。③は当該局が受信した画像のファイル名でプルダウンメニューで受信した時間が新しいものから順に imag1～image30 まで最大 30 枚の画像が保存されている事が確認できる。ファイル名を選択して④の画像読み込みボタンをクリックしたら⑤のスリンにその画像が表示される。⑥のデジサイト愛とフレーム (枠) にはデジサイトの情報がきろくされている。

## 6-4. ETC タグの各項目について



図 6-3-1

図 6-3-1 は現在の私の ETC タグの状態である。

### 他のセッティング フレーム (枠)

- ・カーソルを TX/RX 画像上に移動にチェック。
- ・受信画像を HTML で使用するにチェック。

### 受信時のサウンド フレーム (枠)

- ・モードごとに受信音が設定されている。プルダウン形式でサウンドが選べるようだしサウンドの試聴ができる。
- ・マイサウンドにチェックを入れると自分の好みの音にすることができるようであるが現在は使用しない。



## TX 画像サイズ フレーム (枠)

最大幅 = 1820、最大高さ = 1080、小さな画像の拡大取り込みにチェック。

## 受信 TML フレーム (枠)

- List のプルダウンメニューに「送信局のコールサイン.html」のファイルの一覧が表示される。
- 「HTML 削除」ボタンで、リストで選択したファイルを削除する。
- 「フォルダ開」ボタンで C:\¥Controller\_EasySimple¥RXHTML のフォルダ (図 6-3-5) が開く。

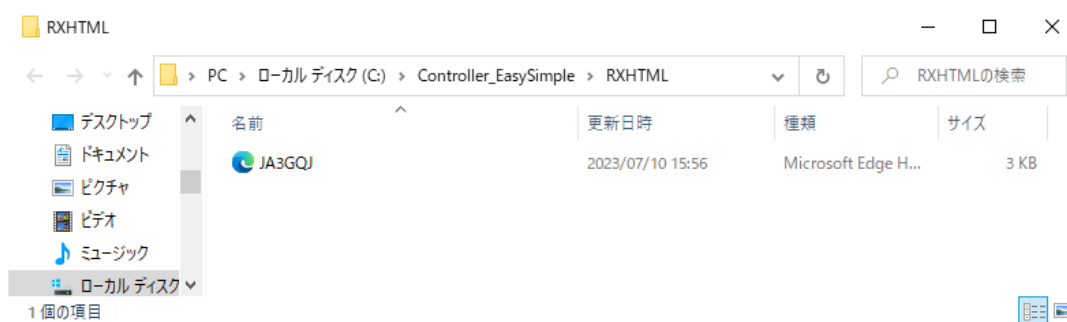


図 6-3-5

- 「リフレッシュ」ボタンでフォルダーの内容を新しくする。



## 7. 送信

### 7-1 TX タグの各項目について



図 7-1-1

#### メッセージ枠（フレーム）

図 7-1-1 の「マクロ」ボタン①をクリックすると「マクロメニュー」（図 7-1-2）がポップアップする。



Nice2 ラジオボタン = 図 7-1-2 の Macro Nice2 の文字 (Msg1 に相当) が図 7-1 の上の枠②、Mernu1 Comment 3 (Msg2 に相当) が下の枠③に入る。

73 ラジオボタン = 図 7-1-2 の Macro 73 の文字 (Msg1 に相当) が図 7-1 の上の枠②、Mernu1 Comment 4 (Msg2 に相当) が下の枠③に入る。

- ・ 図 7-1-5 は④の相手局フレーム (枠) に Call、SNR、Name を入力、MSG1、Msc2 にチェックを入れた時の画像転送前 (左) と転送後 (右) の送信画像である。



図 7-1-5

Msg1,Msg2,Msg3,Msg4,Repor (図 7-1-1 の④) = チェックマークを付けると送信画像にそれぞれのマクロで組まれた文字を貼り付ける事が出来る。表示されている画面のカラーボタンをマウスで移動して文字の表示位置を調整する。

Italic (図 7-1-1 の⑤) = チェックマークを付けると文字がイタリック表示になる。

Msg3,Msg4,Repor (図 7-1-1 の④) のいずれかにチェックマークを付けると Add Message (図 7-1-6) がポップアップする。

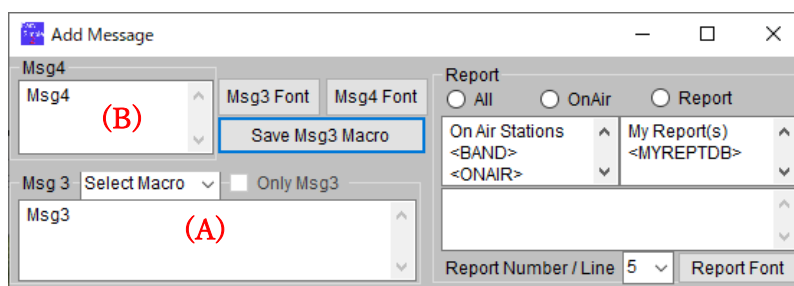


図 7-1-6

実際には使用していないが Msg3((A))、Msg4((B))に自分で考えたメッセージを書いて 図 7-1-1 の Msg3 と Msg4 にチェックマークを付けてみた → 図 7-1-6 を閉じると効果はないが図 7-3 を表示した状態にしておくと送信画像にメッセージが貼りついた → 画像交換をしながらチャットができそうである。メッセージ枠 (フレーム) の「読み込み」「保存」「フォント設定」の各ボタンは現時点で未体験。

### ロゴ フレーム (枠) (図 7-1-7)

背景が透明な二枚の画像を予め保存しておいて  
ラジオボタンで選択して送信画像に貼り付ける。

Logo 1 = ラジオボタンで選択したロゴが送信画像に貼り  
つく。

Logo 2 = ラジオボタンで選択したロゴが送信画像に貼り  
つく。

None = 貼りつけたロゴを送信画像から削除。

Open fold = ロゴを保存しているフォルダーを開く。フォル  
ダー内の画像はドラッグアンドドロップで Logo1  
あるいは Logo2 に貼り付ける。

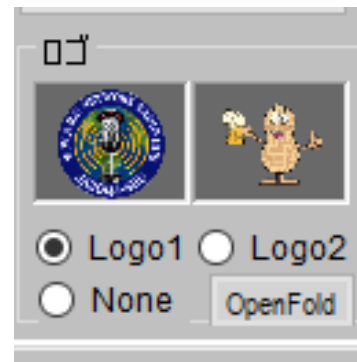


図 7-1-7

### 相手局 フレーム (枠) (図 7-1-8)

Call に相手局のコールサインを入力して RX にチェッ  
クマークを付けると当該局の受信画像を送信画像に貼  
り付けることができる。

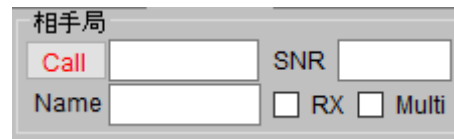


図 7-1-8

RX と Multi の両方にチェックマークを付けると送信画像に 4 コマのサムネイルで受信画像  
を張り付けることができる。サムネイルを横に表示するか縦に表示するかは Multi のチェ  
ックマークの付け外しで行う。また貼り付けたサムネイルのサイズはマウスのローラーで  
行える。

### QSL 画像配置 フレーム (枠)



図 7-1-9

TX タグに画像を読み込む → スクリーンの画像を右クリック → ポップアップする  
画面 (図 7-1-9) の「QSL データ」をクリック → 新たにポップアップする画面  
QSL Data に図 7-1-10 の通り (一例として) データを入力 → 「X」をクリックして  
画面を閉じる → ※1 opacity でテーブルの不透明度が変えられる。

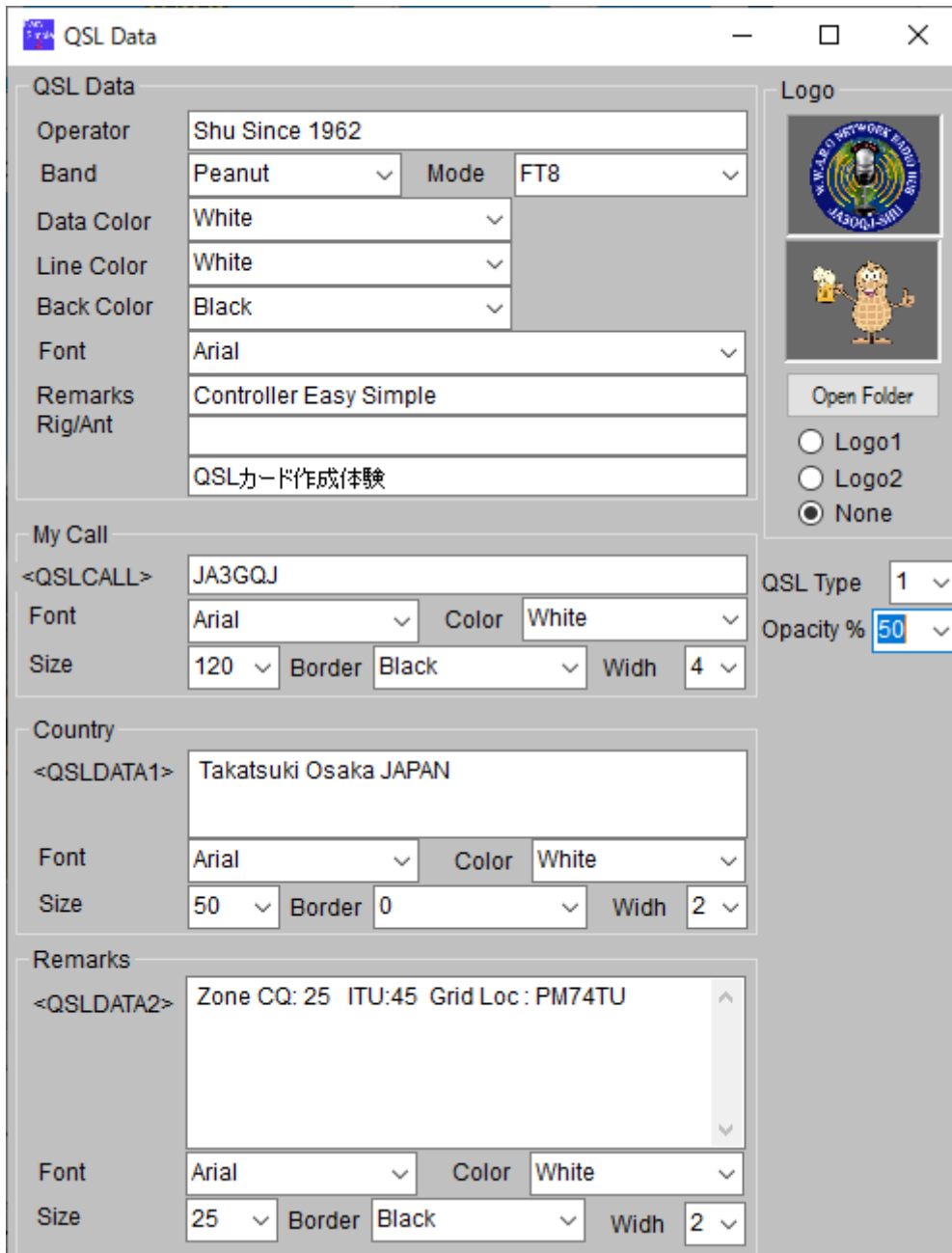


図 7-1-10

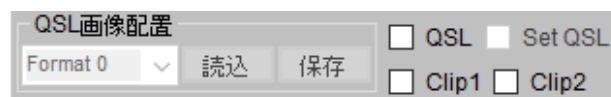


図 7-1-12

※1 → 図 7-1-12 の QSL にチェック → 画像にテーブルが貼りつく (図 7-1-12)  
 → ※2





図 7-1-12

※2 → 図 7-1-12 の Set QSL にチェック → QSL カードの一般的な文字が貼りつく  
 () → ※3



図 7-1-13

※3 → ピンクのカーソルで文字の位置を調整 → 「画像転送」 ボタンをクリック  
 → QSL カード完成



図 7-1-14

図 7-1-10 で「QSL Type」に「2」を選ぶと図 7-1-15 のように違ったテーブルになる。

To Radio : JI 3ZII Confirming Our QSO				
DATE	TIME	RST/SNR	BAND	MODE
Jul 13 2023	05:45 UTC	-10dB	Peanut	FT8
RIG/ANT/Remarks				
Controller Easy Simple				
QSLカード作成体験				
Operator : Shu Since 1962				

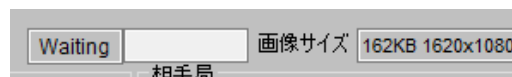
図 7-1-15

### Logo フレーム (枠)

TX タグ同じ要領でロゴを読み込み、ラジオボタンで Logo1 か Logo2 を選択したら QSL カードにロゴが貼りつく。

### その他未体験の項目

右の項目は未体験。



### **7-2 JTDX( WSJTX)、Vari Image Front、EZPix を運用する場合**

インターネットの通信デバイスは Peanut, Client Peanut, Discord などの通信ソフトを使用する。Image Controller Easy Simple の TX タグで画像を準備する。図 7-2-1 は図 7-1-1 の

右下の部分である。図 7-2-1 の右は「GMSK」タグで「GMSK 画像同時アップロード」にチェックマークを付けたときで、FT 8 用 GMSK 用の区別なく画像が同時にアップロードできる。



図 7-2-1

ポップアップ (図 7-2-1) = チェックマークを付ける。

画像読込 (図 7-2-1) = このボタンをクリックして送信用画像がある」フォルダーを開く。ホルダーに表示される画像ファイルをダブルクリックしたらそれが TX タグの画面に貼りつく (図 7-2-2)。

- ここで Msg1 から Msg4 や Report にチェックマークを付けて貼りついた画像に文字を書き込む。さらにラジオボタンで Logo1 か Logo2 (図 7-2-1) を選んで画像にロゴを貼り付ける。尚、貼り付けたロゴの大きさはマウスのローラーで調整できる。



図 7-2-2

トリミング (図 7-2-1) = 次の要領で読み込んだ画像のトリミングができるが実際に使用したことはない。図 7-2-1 の「トリミング」ボタンをクリック → 「Trimming」画面 (図 7-2-3) がポップアップ → 画面の上の原画に選択枠 (トリ



ミング枠)が表示されている → 選択枠をマウスで動かして送信したい範囲を選ぶ → 画面下に選択した範囲の画像が表示されている → 「送信画像へ」ボタンをクリックしてTX タグに貼り付ける (図 7-2-4)。

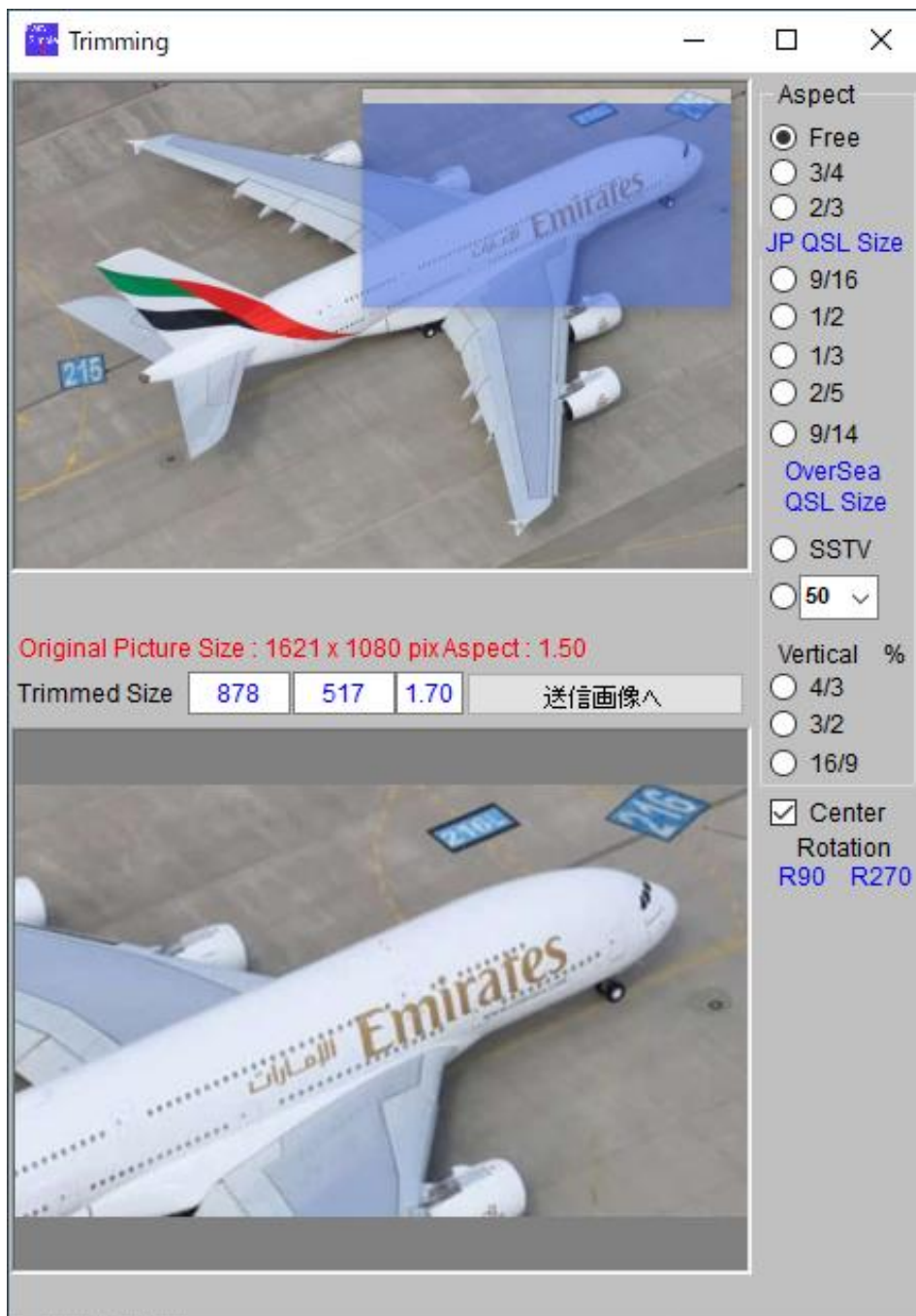


図 7-2-3



図 7-2-4

画像転送（図 7-2-1） = このボタンをクリックしたら画像に自動で「JA3GQJ.jpg」という名前が付けられて ftp サーバーのフォルダー「IMAGE」の「images-c」に送られると同時に、TX ポップアップにチェックマークを付けたので文字やロゴが貼りついた画像（図 7-2-5）がポップアップする。転送が終わったら文字の色が赤からブルーに変わる。送信画像を変えてもファイル名は常に「JA3GQJ.jpg」だ。



図 7-2-5

UploadW/imp3 (図 7-2-1) = このボタンをクリックしたら送信画像と mp3 フォーマットの音楽ファイルが同時に ftp サーバーのフォルダーIMAGE/images\_c にアップロードされるファイル名はそれぞれ JA3GQJ.jpg と JA3GQJ.mp3 になる。

Upload GMSK (図 7-2-1) = このボタンをクリックしたら自動的に画像のファイル名を「image1」として ftp サーバーのフォルダー「EZPix」に送ると同時に、TX ポップアップにチェックマークを付けたので、文字やロゴが貼りついた画像 (図 6-7) がポップアップする。転送が終わったら文字の色が赤からブルーに変わる。送信画像を変えてもファイル名は常に「image1」である。このボタンは EZPix を運用するとき有効である。

TX JTDX (図 7-2-1) = このボタンをクリックしたら JTDX の「送信開始」ボタンが押される。

緊急停止 (図 7-2-1) = このボタンをクリックしたら JTDX の「送信停止」ボタンが押される。

### 7-3 HTML/Video タグの各項目について

#### HTML を扱う場合

HTML/Video タグで HTML を扱う場合、主に JA0AYH さん作の HTML テンプレート用の

マクロが用意されている。HTML テンプレート「002-JA0AYH.html」を使用したときの HTML/Video タグの全体図を次のページの図 7-3-1 に記録した。そして、別途、「Slide」タグや「Wall」タグで HTML 用の画像を準備するようになっているのでこれら三種類のタグを有効に組み合わせて楽しい画像が作れる。



図 7-3-1

詳細は[ここをクリックして](#)、巻末 APPENDIX-3 の Slide タグ、Wall タグに記録したのでここではそれ以外について記録しておく。

#### 相手局データ

- ・相手局の Call、SNR、Name を入力したらメッセージ フレーム (枠) で CQ 以外の



マクロを選択したときに Call、SNR、Name が画像に貼りつく。

- ・次のページの図 7-4-2 はマクロに「Nice」を選択したときの例。
- ・マクロに「CQ」を選択したときは Call、SNR、Name は貼りつかない図 7-4-3。
- ・マクロに「73」を選択したときは図 7-4-4 の文字が画面に貼りつく。

#### デフォルト、ユーザ1、ユーザ2 フレーム (枠)

・テンプレート= デフォルト、ユーザ1、ユーザ2 の三種類のフォルダーが選べる。

図 7-4-1 では C:\¥Controller\_EasySimple¥HTML にあるユーザ1 のテンプレートを Set した例である。①にはそのテンプレートのリストが表示される。



図 7-3-2



図 7-3-3



図 7-3-4

メッセージ フレーム (枠)

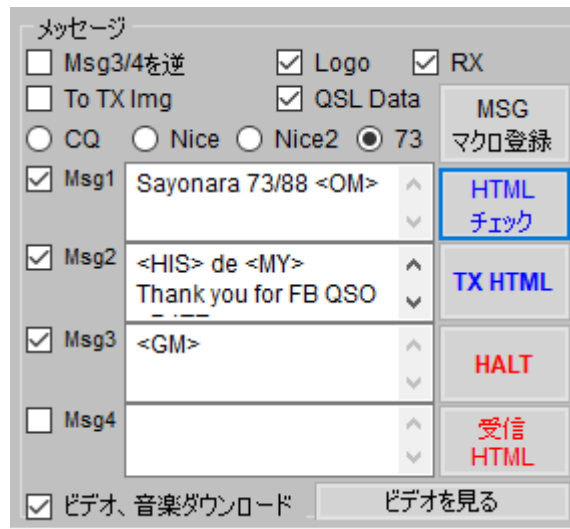


図 7-3-5

「MSG マクロ登録」 = マクロ関係は TX タグと同じ。

「TXHTML」 = クリックで JTDX の「送信開始」ボタンを押す。(送信開始)

「HALT」 = クリックで JTDX の「送信停止」ボタンを押す。(送信停止)

「受信 HTML」 = 直近に受信した HTML を再生する。

「ビデオを見る」 = ビデオ、音楽ダウンロードにチェックマークを付けて、受信したビデオや音楽をこのボタンで再生する。

- To TX img にチェックマーク = HTML の画像を TX タグに貼り付ける。
- QSL Data にチェックマーク = HTML の画像と QSL カード用のテーブルを TX タグに貼り付ける。
- Logo にチェックマーク = QSL Data (図 7-1-10) のロゴを。
- RX にチェックマーク = 受信画像を TX タグに貼り付けるはず？
- Msg1 にチェックマーク = 対応したマクロを TX タグに貼り付ける。
- Msg2 にチェックマーク = 対応したマクロを TX タグに貼り付ける。
- Msg3 にチェックマーク = 対応したマクロを TX タグに貼り付ける。
- Msg にチェックマーク = 対応したマクロを TX タグに貼り付ける。

## Video を扱う場合

Image Controller Easy Simple の HTML/Video タグで mp4 ファイルを準備する。

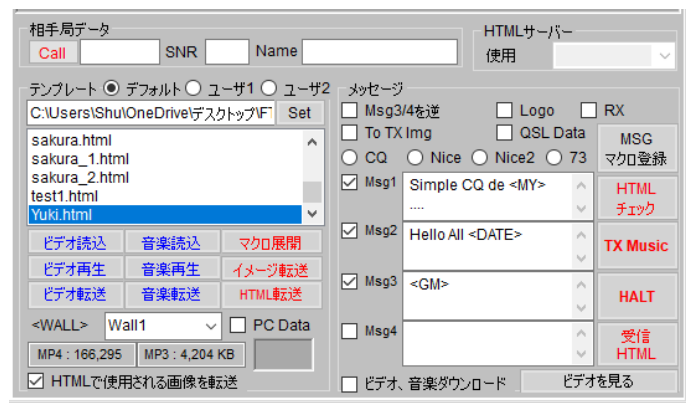


図 7-4-2

図 7-4-2 は HTML/Video タグの下半分の画面である。この画面の「ビデオ読み込み」ボタンをクリック → ビデオファイルを保存しているフォルダーが開く → 目的のファイルをクリック → 「ビデオ再生」ボタンをクリック → 読み込んだビデオが再生される (図 7-4-2) → 「X」をクリックしてビデオを止める → 「ビデオ転送」ボタンをクリック → 送信デバイス (トランシーバー、Peanut、Client Peanut、Discord など) の PTT をオンにする → 予め決めておいた画像 (文字) 通信ソフトの送信ボタンをクリック → 送信開始 → 各ソフトで決められた時間で自動的に送信が終わる → 送信デバイスの PTT をオフにする。

尚、各送信デバイス (トランシーバー、Peanut、Client Peanut、Discord など) の VOX 機能をうまく使えば各送信デバイスの PTT のオンオフは不要。

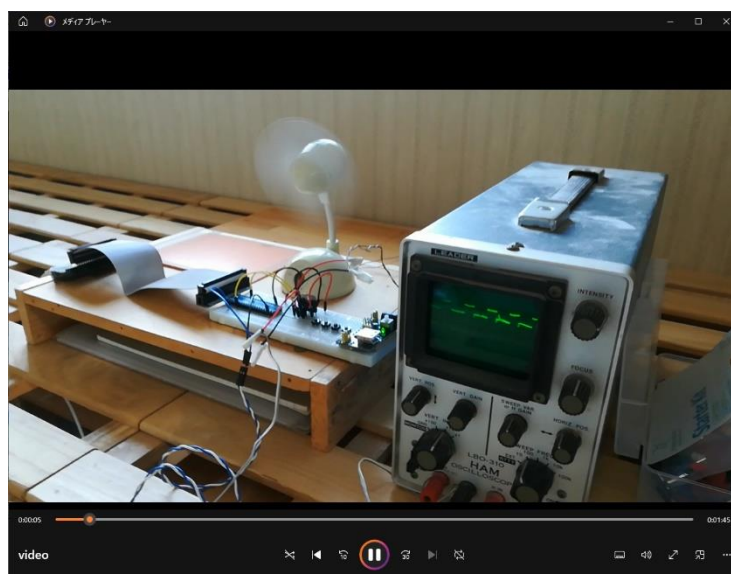


図 7-4-2

## 音楽を扱う場合

Image Controller Easy Simple の HTML/Video タグで mp3 ファイルを準備するが、このファイルは静止画像、ビデオ、HTML などに付属して使われ単独で扱われることはない。

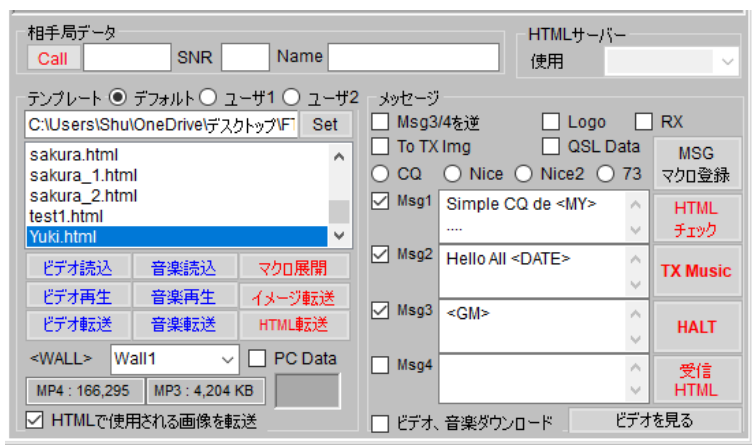


図 7-5-1

図 7-5-1 は HTML/Video タグの下半分の画面である。この画面の「音楽読込」ボタンをクリック → 音楽ファイルを保存しているフォルダーが開く → 目的のファイルをクリック → 「音楽再生」ボタンをクリック → 読み込んだ音楽が再生される (図 7-5-2) → 「X」をクリックして音楽を止める → 「音楽転送」ボタンをクリック → 「JA3GQJ に転送します OK ??」というコメント (図 7-5-3) がポップアップ → 「OK」をクリック → 音楽ファイルが JA3GQJ.mp3 というファイル名でサーバーにアップロードされる

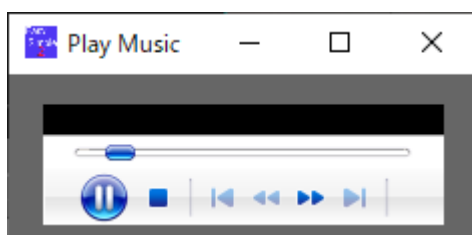


図 7-5-2

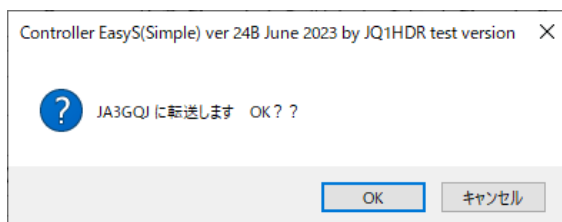


図 7-5-3



## 7-4 GMSK タグ

### GIF アニメと HTML を扱う



図 7-6-1

### GMSK 設定フレーム (枠)

- ・ GMSK Log Dir = C:\VariFront2\GMSK がデフォルトでセットされている。これは「Vari Image Front」が GMSK モードと mfsk-U モードを同時送受信できるようになっているのでインストールした「Vari Image Front」のフォルダーをコピーして VariFront2 というフォルダーを作っておく必要がある。VariFront2 というフォルダーがないとエラーになってソフトが動作しない。

### 使用画像サーバーフレーム（枠）

- ・ FTP サーバー名 = 「radiotkrk.php.xdomain.jp」を入力する。（Setting タグのデジサイトサーバーやマイサーバーと同じ）
- ・ ID = 「radiotkrk.php.xdomain.jp」を入力する。（Setting タグのデジサイトサーバーやマイサーバーと同じ）
- ・ パスワード = Setting タグのデジサイトサーバーやマイサーバーと同じパスワードを入力する。
- ・ GMSK URL = http://radiotkrk.php.xdomain.jp と入力する。EZPix が自動でフォルダーを作るので結果的に URL は http://radiotkrk.php.xdomain.jp/EZPix になる。  
[ここをクリックして](#)、別冊「EZPix 使用体験記」を参照
- ・ ID パスワード表示 = 通常はチェックマークを付けない。
- ・ GMSK 画像同時アップロード = チェックマークを付けると送信用画像が従来のサーバーと新規にできた EZPix 用サーバーに同時にアップロードされる。  
EZPix は CQ 用以外の送信画像に文字を入れることができないので Image Controller Easy Simple の TX タグで文字入りの画像を用意すれば EZPix で文字入り画像が送れる。

GMSK はシステムサーバを使用する = 自前の FTP サーバーを使用しない場合はここにチェックマースを付ける。

### GIF アニメーションフレーム（枠）

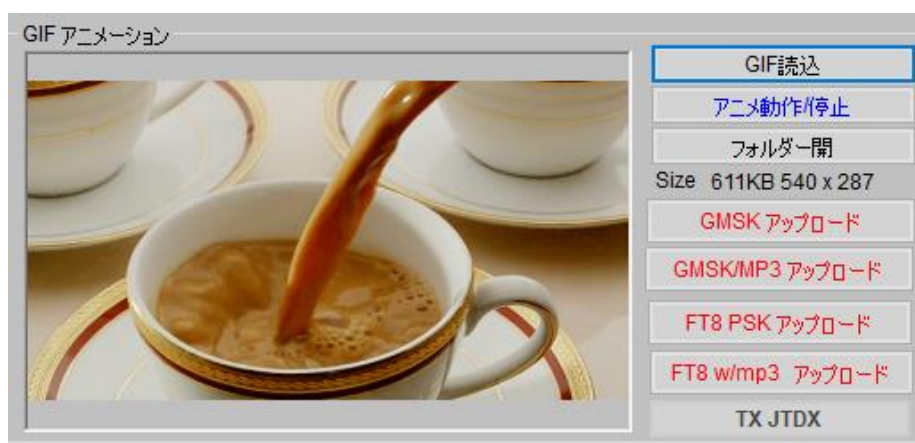


図 7-6-2

- ・ 「GIF 読み込」 ボタン = クリックして gif 画像が保存されているフォルダを開き目的の画像をダブルクリックしたら左の GIF アニメーションのスクリーンに貼りつく（図 7-6-2）。

- ・「アニメ動作停止」ボタン = クリックしたら左のスクリーンのアニメが停止して表示文字がブルーから赤に変わる。再度クリックしたらアニメが動き出し表示文字もブルーに戻る。
- ・「フォルダー開」ボタン = クリックしたら gif 画像が保存されているフォルダが開く。
- ・「GMSK アップロード」ボタン = クリックしたら左のスクリーンの GIF 画像が使用画像サーバーで設定した URL のフォルダーに image1 というファイル名でアップロードされ、ボタンの文字が赤からブルーに変わる。  
但し、「GMSK はシステムサーバーを使用する」にチェックを入れている場合はシステムサーバーにアップロードされる。
- ・「GMSK/MP3 アップロード」ボタン = クリックしたら左のスクリーンの GIF 画像が image1 というファイル名で、mp3 フォーマットの音楽ファイルが music.mp3 というファイル名で同時に ftp サーバーのフォルダーにアップロードされ、ボタンの文字が赤からブルーに変わる。  
但し、「GMSK はシステムサーバーを使用する」にチェックを入れている場合はシステムサーバーにアップロードされる。  
尚、mp3 フォーマットの音楽ファイルは HTML/Video タグで予め読み込んでおく必要がある。
- ・「FT8PSK アップロード」ボタン = クリックしたら左のスクリーンの GIF 画像が JA3GQJ.gif というファイル名で先の Setting タグのマイサーバで設定した URL のフォルダーにアップロードされ、ボタンの文字が赤からブルーに変わる。  
但し、「GMSK はシステムサーバーを使用する」にチェックを入れている場合はシステムサーバーにアップロードされると思う。
- ・「FT8 wmp3 アップロード」ボタン = クリックしたら左のスクリーンの GIF 画像が JA3GQJ.gif というファイル名で、mp3 フォーマットの音楽ファイルが JA3GQJ.mp3 というファイル名と一緒に、先の Setting タグのマイサーバで設定した URL のフォルダーにアップロードされ、ボタンの文字が赤からブルーに変わる。但し、「GMSK はシステムサーバーを使用する」にチェックを入れている場合はシステムサーバーにアップロードされると思う。  
尚、mp3 フォーマットの音楽ファイルは予め HTML/Video タグで読み込んでおく必要がある。

- ・「TX JTDX」ボタン = クリックして、JTDX の「」をオンにする。

### GMSKHTML フレーム (枠)



図 7-6-3

- ・ GMSK で HTML を送信するにチェックマークを入れる。
- ・ 「画像と HTML アップロード」ボタン = 先ず、「HTML/Video」タグで HTML ファイルを選択 → 「マクロ展開ボタン」をクリック → ボタンの文字が赤い文字に変わる → 左の「GIG アニメーション」スクリーンに HTML の画像が貼りつく → 赤文字のボタンをクリック → 画像が `html1` というファイル名でマイサーバで設定した URL のフォルダーにアップロードされる。

### 画像受信フレーム (枠)

EZPix 及び GMSK にラジオボタン。

EZPix Rx OK にチェックマーク。

### アニメーション用画像作成

「アニメーション用画像作成」ボタンをクリックして「図 7-6-4」を開く → image 枠の 8 コマのサムネイルにフォルダーの画像をドラッグアンドドロップする → 「Check Anime」ボタンで動きをチェック → 「間隔」のプルダウンメニューで時間を選択して動く速さを決める → 「GIF 作成」ボタンをクリックして GIF アニメファイルを作る → GMSK タグにチェックマークを付ける → 「X」をクリックして画面を閉じる → GMSK タグに戻る → 作成された GIF アニメが GIF アニメーションスクリーンに貼り付いている (図 7-6-5)

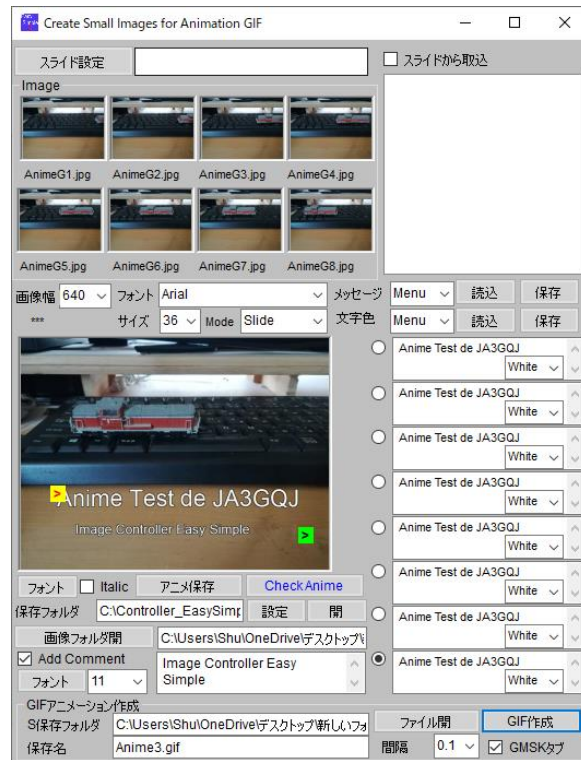


図 7-6-4



図 7-6-5



## 7-5 YoniQ TX タグの各項目

YoniQ TX タグの殆んどの項目は 17 ページの 7-1 項「TX タグの各項目について」の機能と同じなので YoniQ TX タグ固有の項目について記録する。図 7-7-1 は YoniQ TX タグに画像を読み込んだところである。



図 7-7-1

### YoniQ 用画像準備

図 7-7-2 は YoniQ TX タグのスクリーンの下の部分である。YoniQ で送信する画像はすべて此処で準備する。



図 7-7-2

### Cente (プルダウンメニュー②で選択)

タイトルバー①を画面の上下に配置する。図 7-7-3

### Top/Left (プルダウンメニュー②で選択)

タイトルバー①を画面の下部に配置する。図 7-7-4

### Bottom/Right (プルダウンメニュー②で選択)

タイトルバー①を画面の上部に配置する。図 7-7-5



図 7-7-3



図 7-7-4



図 7-7-5

### Bacj1, Back2

プルダウンメニューでタイトルバーの色を選択する。Bacj1 に Black, Back2 に Gold を選択した例が図 7-7-3 の①である。

### Grad

プルダウンメニューで Grad1 から Grad9 までを選択できるが、何処にどの様に反映されるのか、現時点では確認できていない。

### Save ボタン

タイトルバーの色が決まったらこのボタンをクリックしてほぞんする。

### RX, 壁紙にチェックマークを入れる

「Wall」 タグで指定した壁紙①と受信画像②が貼りついて、図 7-7-7 の様な画像になる。



図 7-7-7

### 画像作成ボタン

タイトルバーの位置を決めたらこのボタンをクリックする → 画面にタイトルバーが付けられる (図 7-7-3 から図 7-7-5)。尚、壁紙にチェックマークを付けた場合、タイトルバーは付かない (図 7-7-7)。

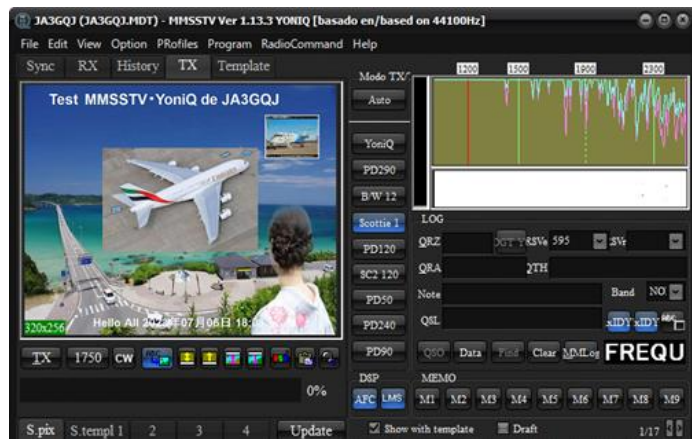


図 7-7-8

### VOX ON

Peanut の VOX 機能を有効にする。

### To YoniQ ボタン

壁紙を使った場合、このボタンをクリックすると図 7-77 の画像が YoniQ の TX スクリーンに貼りつく (図 7-7-8)。タイトルバーを使った場合、このボタンをクリックすると図 7-7-3 等の画像が YoniQ の TX スクリーンに貼りつく (図 7-7-9)



図 7-7-9



## APPENDIX-1

### ソフトインストールと初期設定

ソフトはテストバージョンなので内容がしばしば改良されて変更される事がある。

JQ1HDR 大和さんのページ [jq1hdr.world.cocan.jp/Instruction3/index.html](http://jq1hdr.world.cocan.jp/Instruction3/index.html) を開く →  
左のリストの最後の行の [Test Version \*\*New!\*\*](#) テストバージョン Updated 29 June 2023 を  
クリック → ※1



図 1

※1 → Program Development / プログラム開発のページ図 2 が開く → ページをスクロールしていくと中ほどに「Easy Simple Test Version」がある → そこで [Controller Easy Simple with New Mode GMSK for 64Bit CPU \*\*New!\*\*](#) (Version 29 June 2023) をクリック → 画面右上に「**図 3**」がポップアップする → ※2

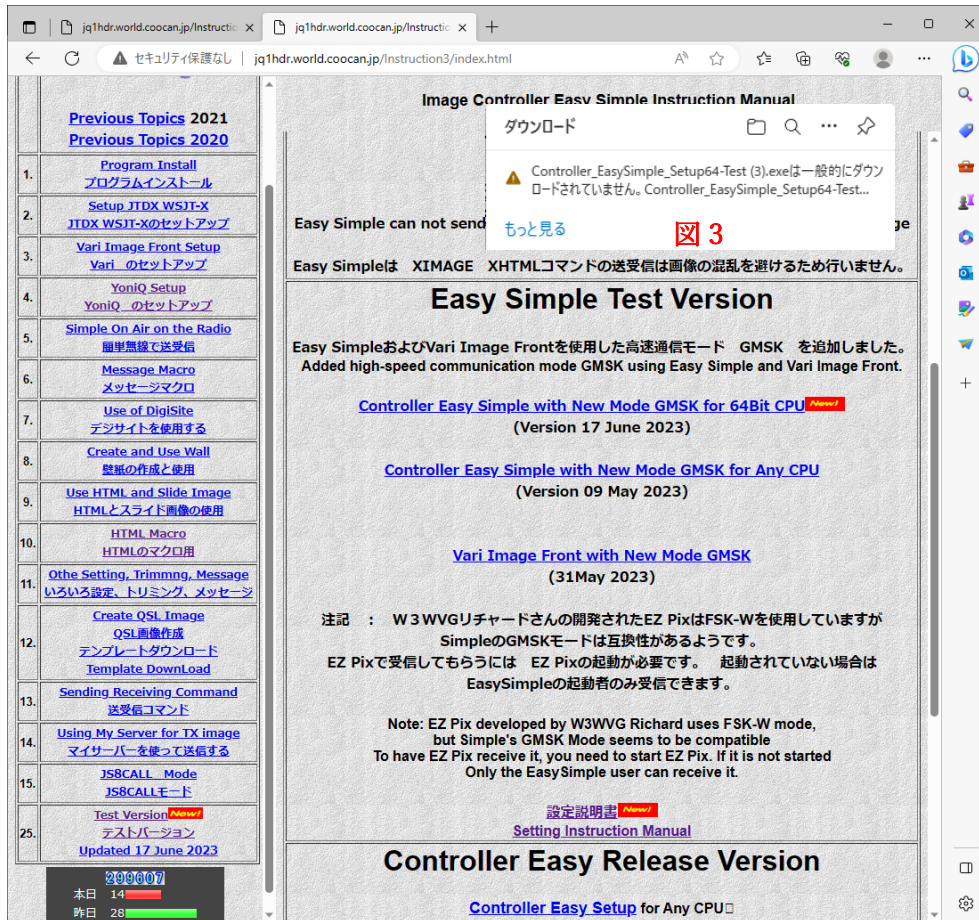


図 2

※2 → 図 3 の文字の上にマウスのポインターを乗せる → 文字の右に「ゴミ箱」のアイコンと「・・・」のアイコンが表示される → 「・・・」のアイコンをクリック → ※3

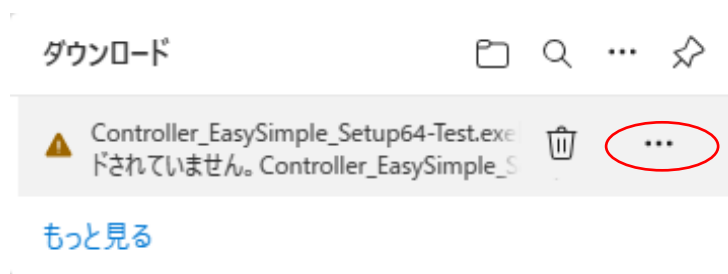


図 4

※3 → 「図 5」がポップアップする → 「保存」をクリック → ※4





図 5

※4 → 「図 6」がポップアップする → 「詳細表示」をクリック → 「図 7」がポップアップする → 「保持する」をクリック → ※5

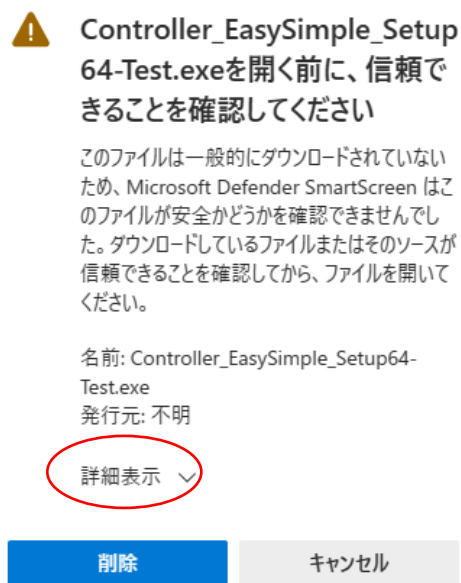


図 6

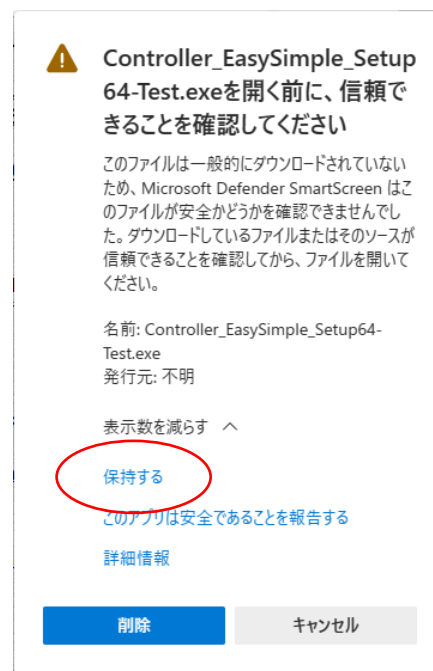


図 7

※5 → 「図 8」がポップアップする → 「ファイルを開く」をクリック → ※6  
「ファイルを開く」をクリックしなくても自動で次の画面開くものもある。

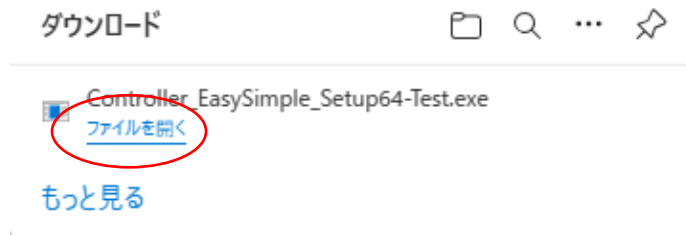


図 8

※6 → 「図 9」がポップアップする → 「詳細情報」をクリック → 「図 10」がポップアップする → 「実行」をクリック → ※7

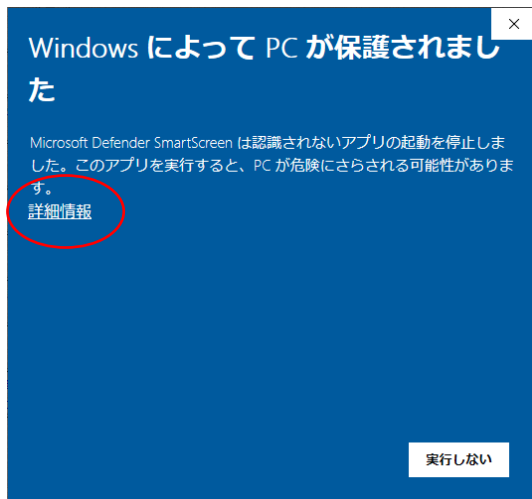


図 9

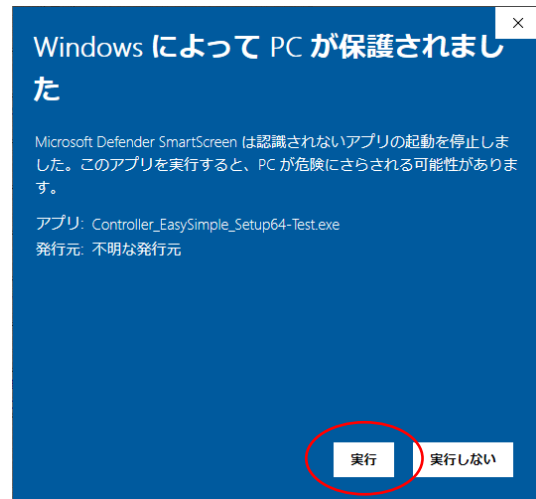


図 10

※7 → 「図 11」がポップアップする → 「はい」をクリック → 「図 12」がポップアップする → I accept the agreement を選ぶ → 「Next」をクリック → ※8

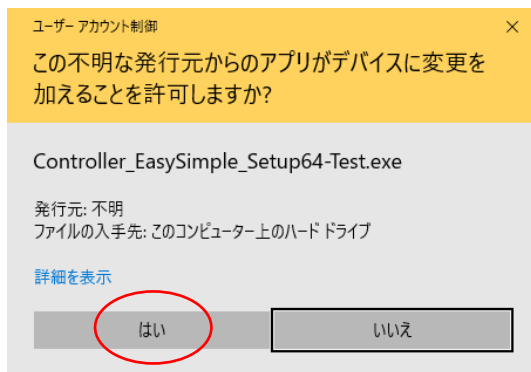


図 11

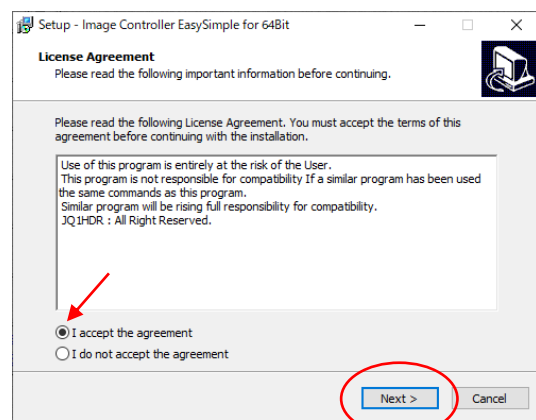


図 12

※8 → 「図 13」がポップアップする → 「Next」をクリック → 「図 14」がポップアップする → 「Next」をクリック → ※9

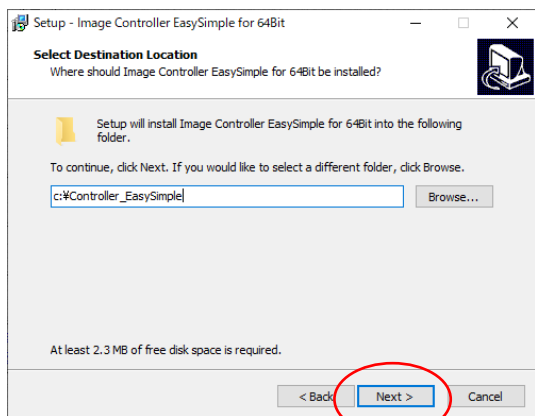


図 13

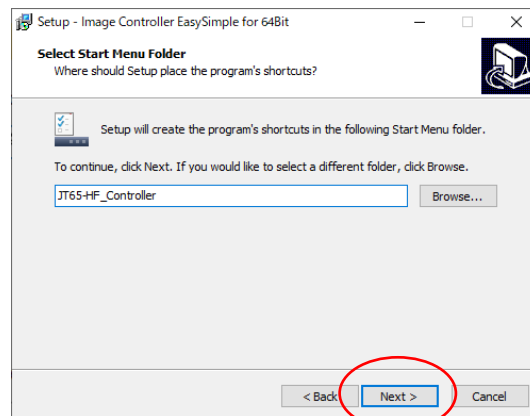


図 14

※9 → 「Ready to install」(図 15)がポップアップ → 「Install」をクリック → 「Installing」(図 16)がポップアップ → プログレスバーが表示されて → ※10

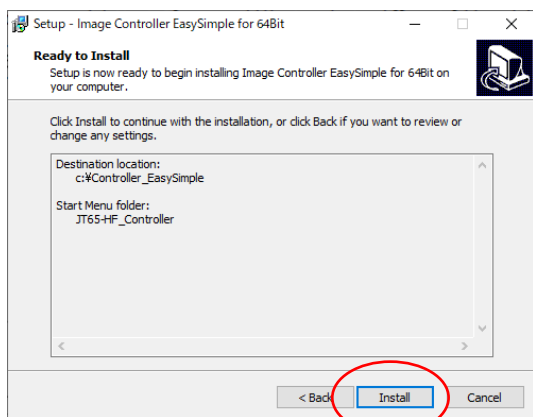


図 15

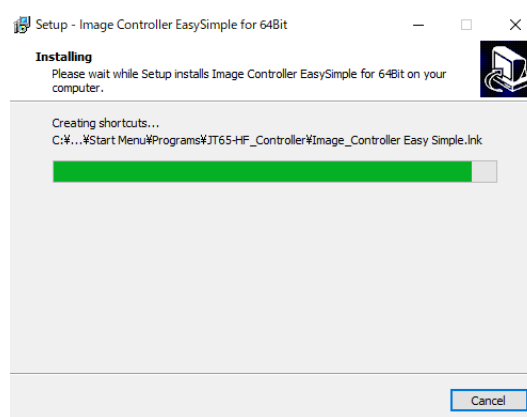


図 16

※10 → 「Completing the Image controller Easy Simple for 64Bit Setup Wizard」(図 17)がポップアップ → 「Finish」をクリック → Image controller Easy Simpleの英語版の初期画面(図 18)がポップアップ → インストール完了 → ※11

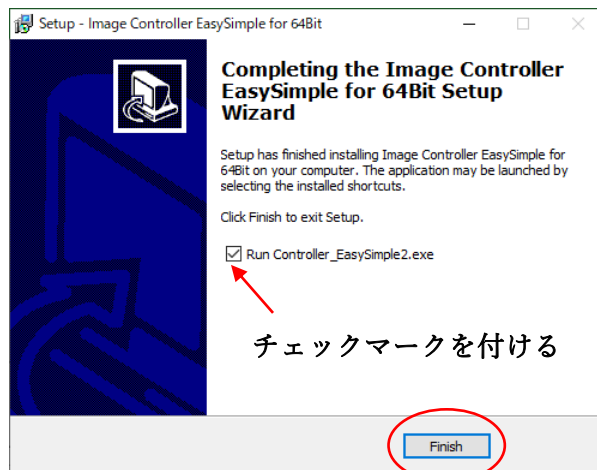


図 17

※11 → インストールで C ドライブのルートに生成されたフォルダー「VariFront」をコピーして「VariFront 2」を作る → 「Setting」タグの画面（図 18）で設定を開始 → My Call, On Air Band のデータを入れる → Japanese, Use My Server, Use SSTV, Auto Start, Who is On Air 全てにチェックマークを付ける → Mode Frame で GMSK にチェックマークを付ける → Who is On Air のチェックマークが消える → Who is On Ai に再度チェックマークを付ける → ※12

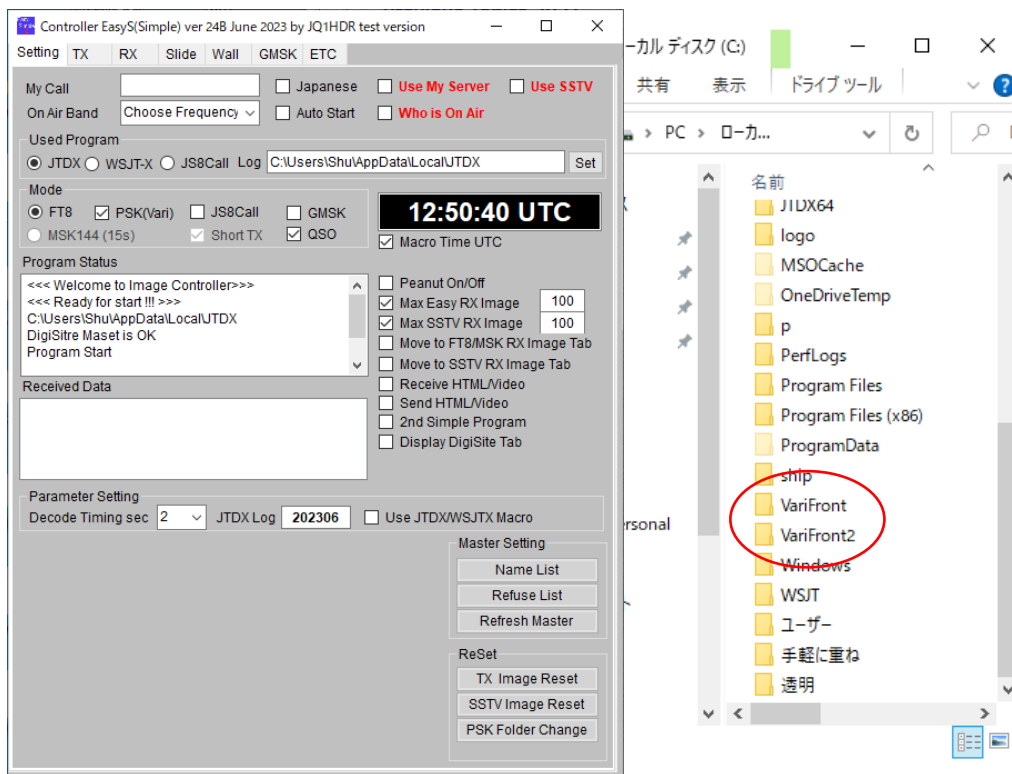


図 18

※12 → 図 19 の通り各項目を満たした → インストール直後の初期設定が終了 → 図 20 は「マイサーバー」の設定画面である → 「X」をクリックして一旦「Image Controller Easy Simple」を終了する。

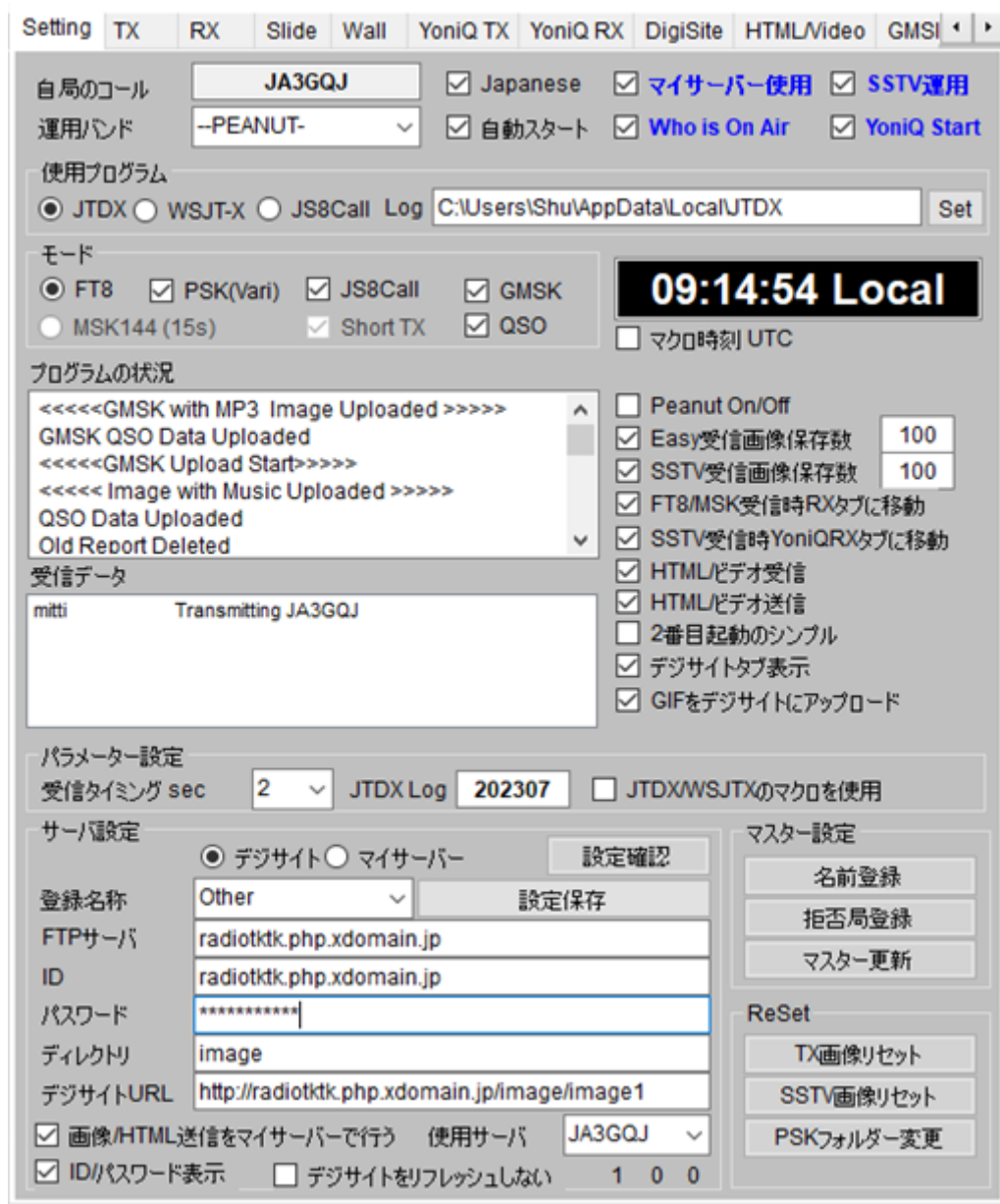
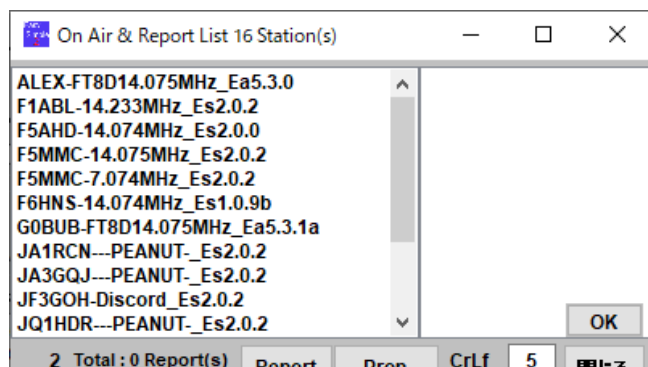


図 19



オンエアリストもポップアップする



マイサーバー設定画面

<b>サーバ設定</b>		<b>マスター設定</b>	
<input type="radio"/> デジサイト <input checked="" type="radio"/> マイサーバー		設定確認	
登録名称	JA3GQJ	名前登録	
FTPサーバ	radiotkk.php.xdomain.jp	拒否局登録	
ID	radiotkk.php.xdomain.jp	マスター更新	
パスワード	*****	ReSet	
ディレクトリ	IMAGE	TX画像リセット	
登録URL	http://radiotkk.php.xdomain.jp/IMAGE/	SSTV画像リセット	
<input type="checkbox"/> 画像/HTML送信をマイサーバーで行う	使用サーバ System	PSKフォルダー変更	
<input checked="" type="checkbox"/> IDパスワード表示	<input type="checkbox"/> デジサイトをリフレッシュしない	1 1 0	

図 20

[ここをクリックして本文に戻る。](#)

APPENDIX-1 終わり

## APPENDIX-2

### MMSSTV・YoniQ のフォルダーのディレクトリー変更

MMSSTV・YoniQ を運用する場合、Image Controller Easy Simple と連携するため、次の設定が必要である。

MMSSTV・YoniQ の「View」タグをクリック → ポップアップした画面のリストの「Always show thumbnails of history」にチェックマーク (図 1) → デイスクトップ左上に thumbnail (図 2) がポップアップ → ※1

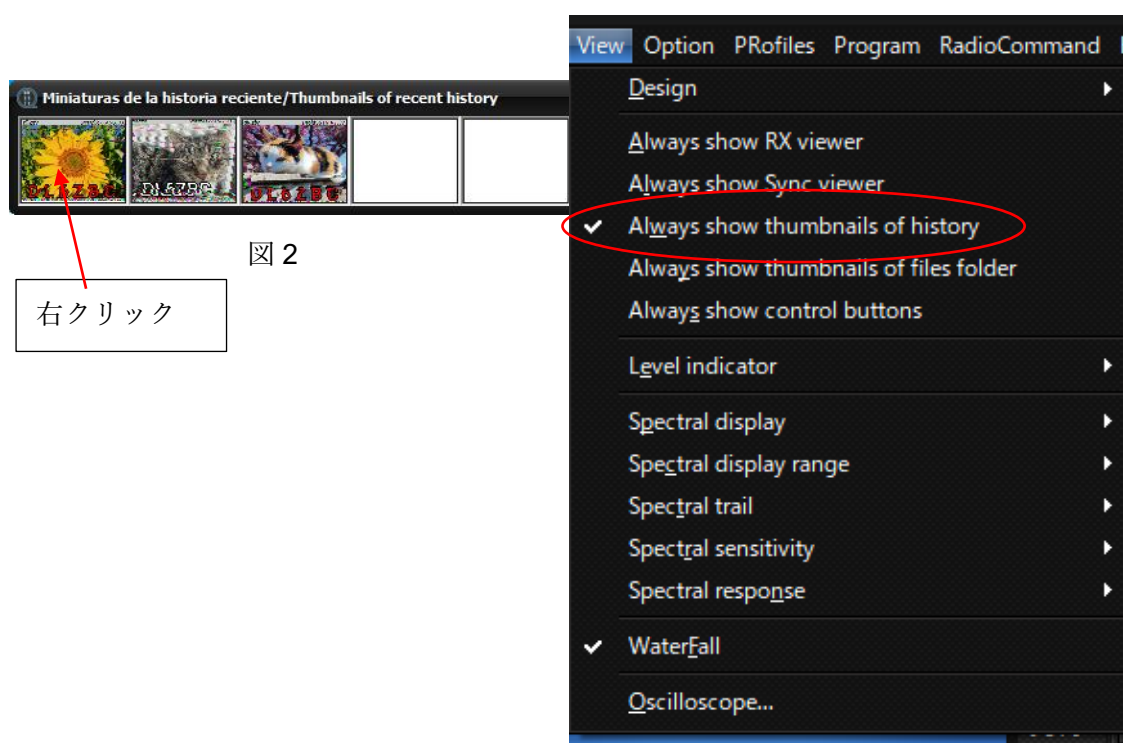


図 1



図 2

※1 → 画面を右クリック → ポップアップした画面のリストの「Auto copy to the another folder」にチェックマーク → そして「Assign another folder name...」をクリック (図 3) → ※2

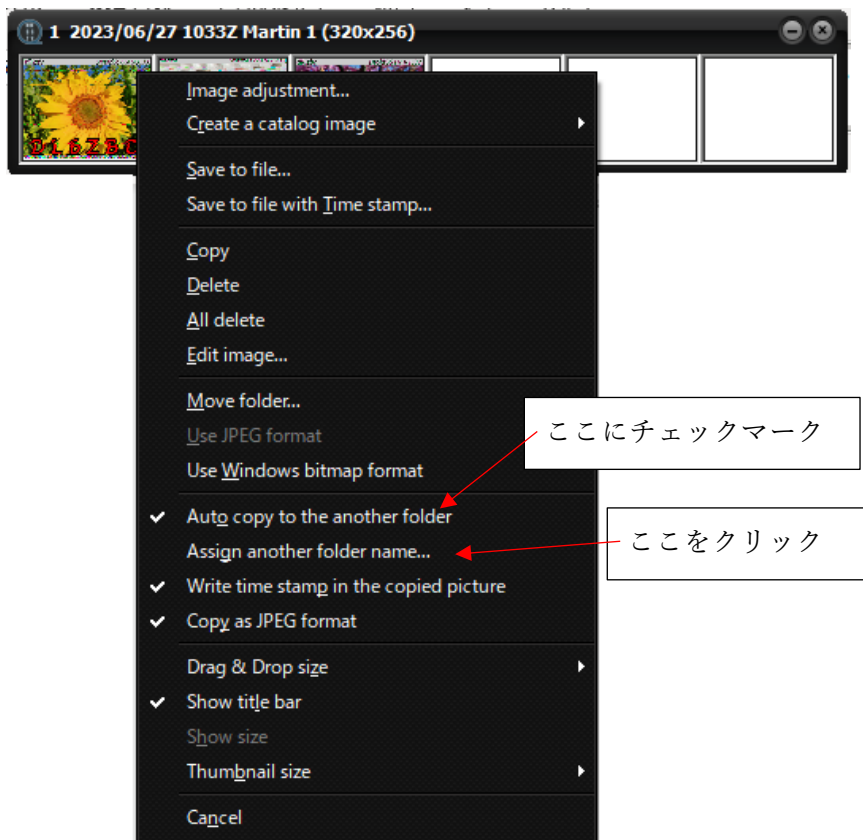


図 3

※2 → ポップアップする画面(図 12)に「C:¥HAM¥MMSSTV¥IMAGE」と入力 → 「OK」  
ボタンをクリックして終了

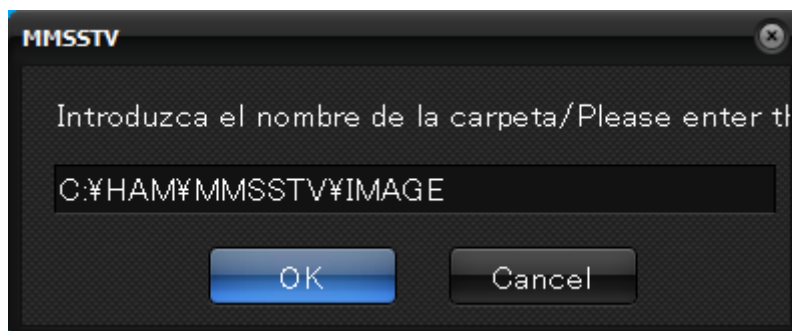


図 4

ここをクリックして、本文に戻る

## APPENDIX-3

### Slide タグと Wall タグについて

#### 1. Slide タグ

ここは HTML 用のテンプレートを使う時の為の画像を扱うタグであるようだ。

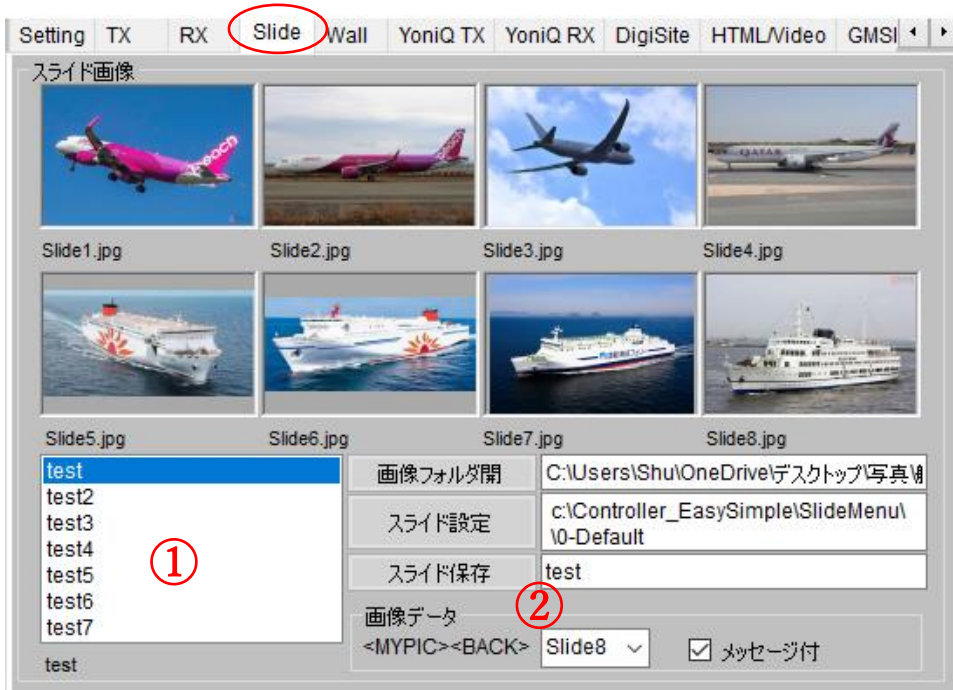


図 1

#### スライド画像フレーム (枠)

「画像フォルダー開」ボタンで画像を保存しているホルダーを開いて、目的の画像を 8 コマの各サムネイルにマウスでドラッグアンドドロップする。

#### 画像フォルダー開 ボタン

JPEG 形式の画像を保存しているホルダーを開く。

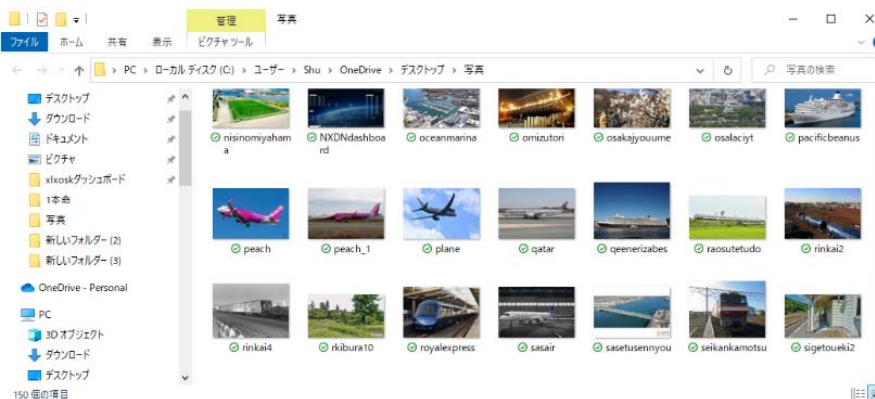


図 2

### スライド設定 ボタン

サムネイルに読み込んだ8コマの画像の組み合わせを保存するフォルダーを決める。

現時点の保存先は、デフォルトの C:¥Controller\_EasySimple¥Sidemenu¥0-Default。

### スライド保存 ボタン

サムネイルに読み込んだ8コマの画像の組み合わせを幾通りでも作れるので、その組み合わせごとに名前を付けて C:¥Controller\_EasySimple¥Sidemenu¥0-Default に保存する。図1の左の①にリストされる。

### 画像データ フレーム (枠)

HTML 用画像を選択する。

- ・ <MYPIC><BACK>は別途定められた HTML 用マクロである。
- ・ 図1の②のプルダウンメニューで8コマのサムネイルの中から数字を選んで HTML 用テンプレートに貼り付ける送信画像を決める。数字以外に「TX」を選ぶと TX タグに読み込んだ画像が使われる。
- ・ 「メッセージ付き」にチェックマークを付けると、図1の②のプルダウンメニューで数字以外の「TX」を選んで、TX タブ で書き込んだメッセージ付きの画像が HTML 用テンプレートに貼り付けられる。

### HTML 用画像準備の例-1

- ・ Slide タグの画像データフレーム (枠) は図3のように設定し、→ ※1



図3

※1 → HTML タグの<WALL>と、PCData は 図4の通り設定。

Wall21 は Slide タグの壁紙2フレーム (枠) の1 (図5のA) を選択、PCData にチェックマークを入れる。→ ※2

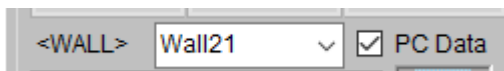


図4



図5



※2 → JA0AYH さん作の HTML テンプレート「002-JA0AYH.html」を使って  
 完成した HTML 用画像が図 6 である。画面右が送信画像、左が受信画像である。  
 実際の画面は、受信画像がスライドショーで表示される



図 6

### HTML 用画像準備の例-2

Slide タグを開く → 画像データフレーム（枠）の<MYPIC><BACK>で Slide8 を選ぶ  
 → メッセージ付きにチェックマークを付ける → ※1

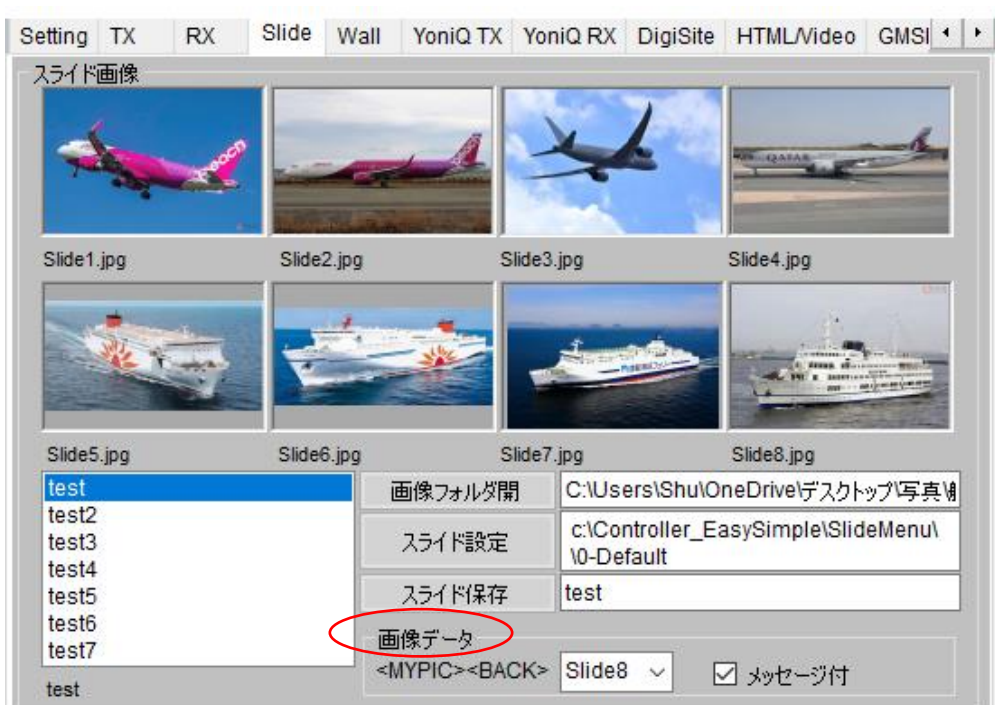


図 7

※1 → HTML/Video タグに戻る → テンプレートリストから JA0AYH さん作の「Yuki.html」を選択する① → 「マクロ展開」ボタン②をクリック → 画像がポップアップ (図 9) → ※2

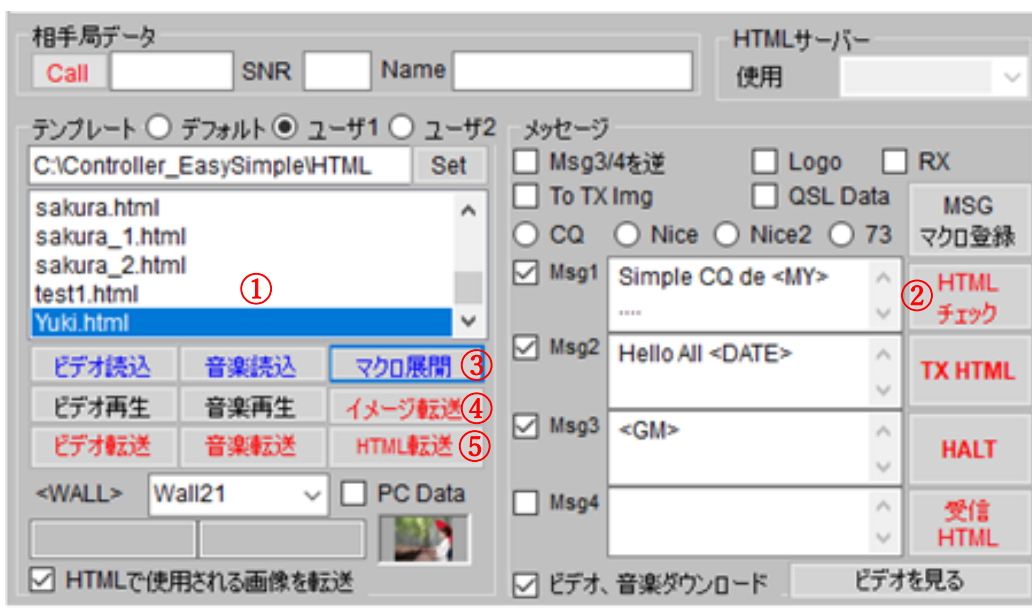


図 8



図 9

※2 → 画面をクリックして閉じる → ボタンの文字が赤からブルーに変わる → 画像が TML/Video タグのスクリーンに貼りつく (図 10) → 「イメージ転送」ボタン③をクリック → ボタンの文字が赤からブルーに変わる → 「HTML 転送」ボタン④をクリック → ポップアップした画像 (図 9) がサーバーにアップロードされる → ボタンの文字が赤からブルーに変わる → 右端にある「HTML チェック」ボタン⑤の文字が赤からブルーに変わる → 「HTML チェック」ボタン⑤をクリック → 作成した HTML を確認する

テンプレート「Yuki.html」の場合は<Wall>及び PCData のチェックマークの有無等の設定は無関係であった。



図 10

## 2. Wall タグ

このタグでは所謂、送信画像の壁紙を二種類の方法で作成する。しかし JPEG などの画像も壁紙にすることができるので壁紙作成は三種類といえる。図 7 はデフォルトの画面。

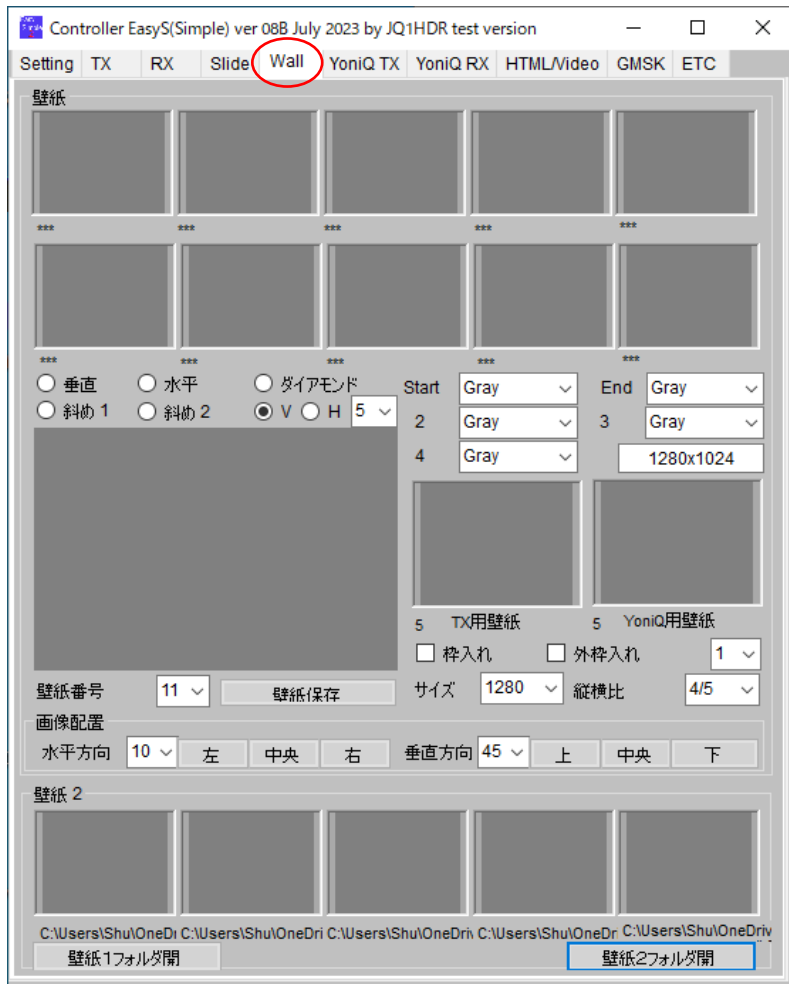


図 7

壁紙を作る 1

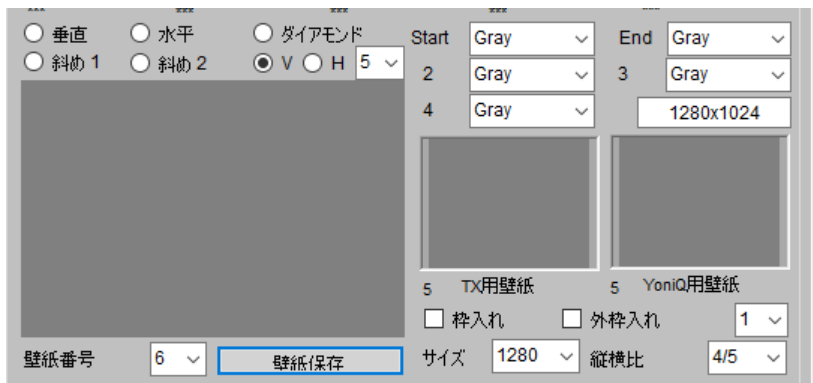


図 8

図8は図7の壁紙を作る部分を示す。

「巢直」、「水平」、「ダイヤモンド」、「斜め1」、「斜め2」、「V」、「H」で壁網のパターンを決める。

「Start」、「2」、「3」、「4」、「End」で壁網のパターンの色を決める。

#### 壁網のパターンに「V」を選択した例

パターン「V」の5階調を選択 → パターンの色を「Start」 = Blue、「2」 = Blue、「3」 = White、「4」 = Blue、「End」 = White に設定 → 壁紙番号1で「壁紙保存」ボタンをクリック → 10コマのサムネイルの1に保存される。壁紙番号は「壁紙保存」ボタンをクリックする毎に1～10まで自動的に増えていく。

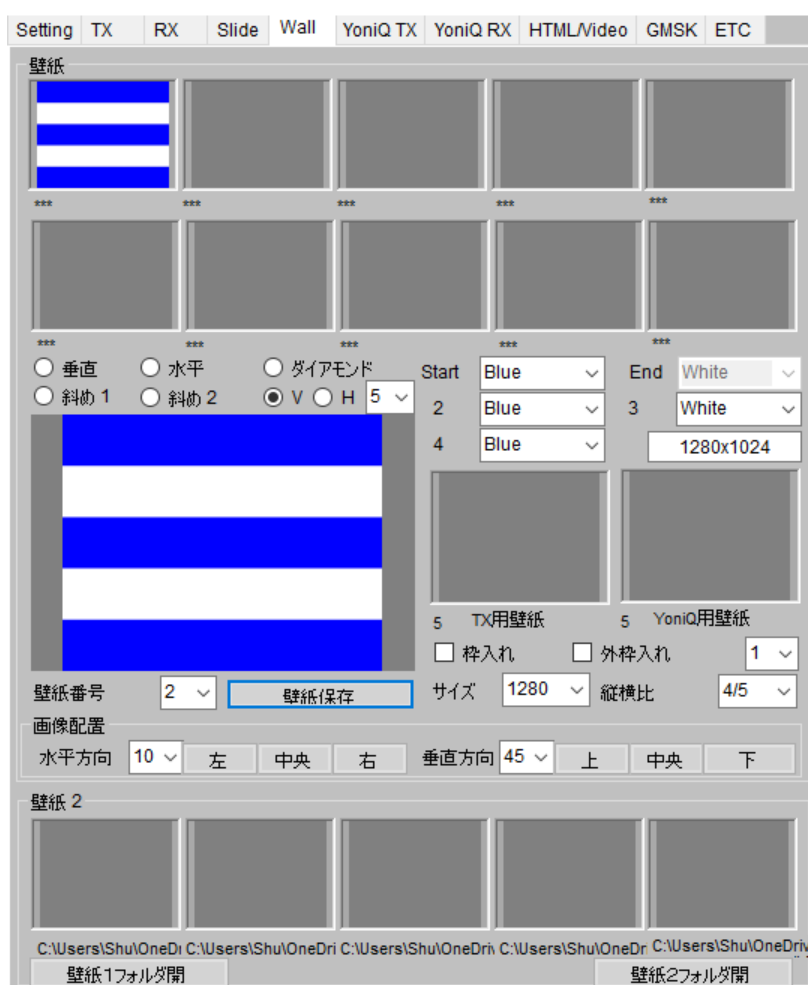


図9

#### 壁網のパターンに「水平」を選択した例

パターン「水平」を選択 → パターンの色を「Start」 = Blue、「2」 = Blue、「3」 = White、「4」 = Blue、「End」 = White に設定 → 壁紙番号2で「壁紙保存」ボタンをクリック → 10コマのサムネイルの2に保存される（図10）。壁紙番号は「壁紙保存」ボタンをクリックする毎に1～10まで自動的に増えていく。



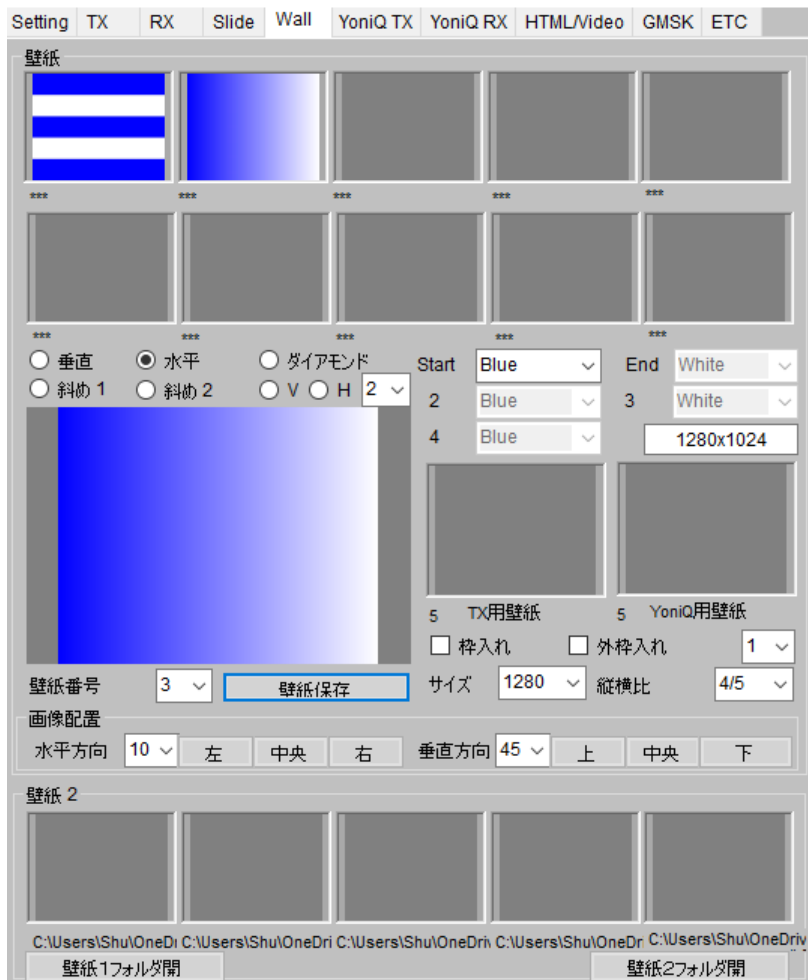


図 10

画像を壁紙にする

JPEG 形式の画像をマウスのドラッグアンドドロップでサムネイルの一コマ一コマに貼り付けたら壁紙として利用出来る (図 11)。



図 11

## 壁紙を作る 2

壁紙用素材を使って壁紙が作れる

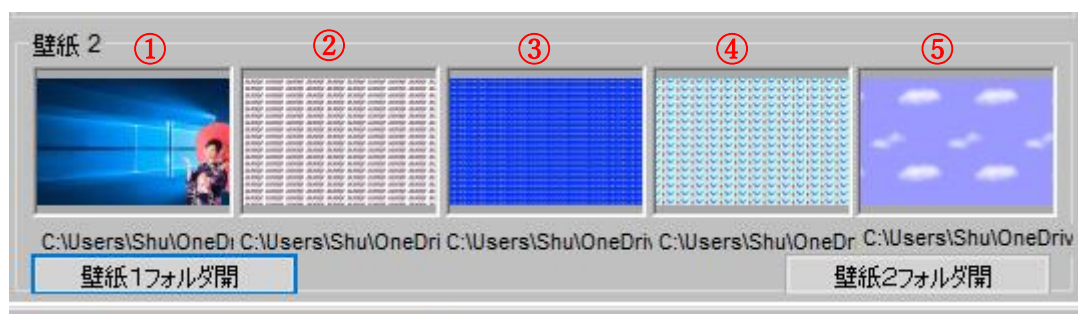


図 12

図 12 で「壁紙 1 フォルダ開」ボタン、「壁紙 2 フォルダ開」ボタンは素材を保存しているフォルダを開くボタンである。クリックするとフォルダが開く (図 13) → ※1

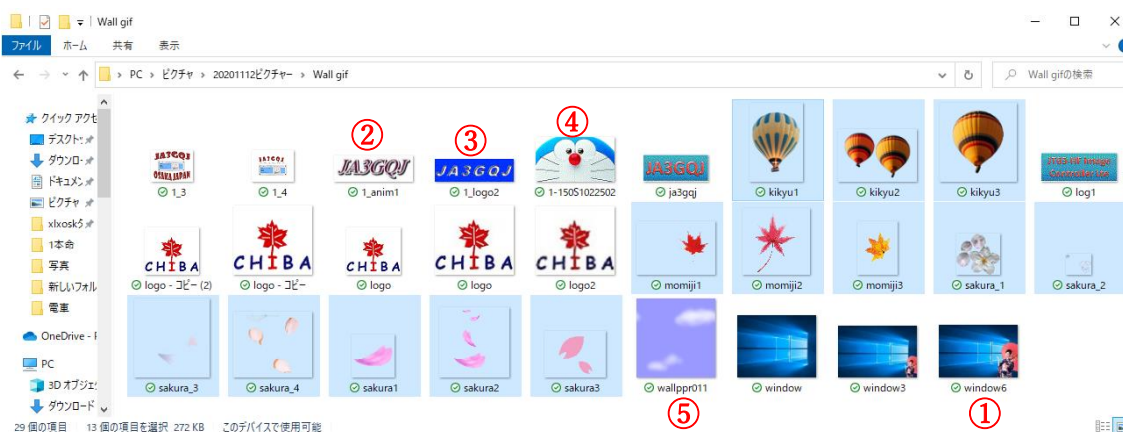


図 13

※1 → 素材ファイルをマウスのドラッグアンドドロップで「壁紙 2」の 5 コマのサムネイルに貼り付けると壁紙ができる。

図 12 の ①～⑤は図 13 の ①～⑤の素材を貼り付けて出来上がったものである。

次ページの図 14 は図 12 の ④を拡大したものである。

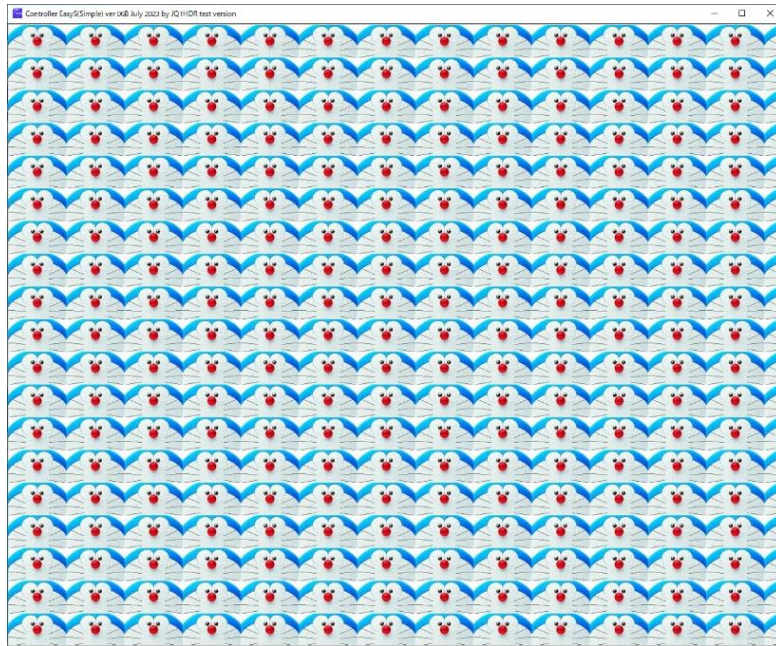


図 14

作成した壁紙を送信画像に貼り付ける

- ・サムネイルの 1 コマを左クリックしたら「TX 用壁紙」コマに貼りついて送信する画像の壁紙になる。
- ・サムネイルの 1 コマを右クリックしたら「YoniQ 用壁紙」コマに貼りついて MMSSTV・YoniQ で送信する画像の壁紙になる。

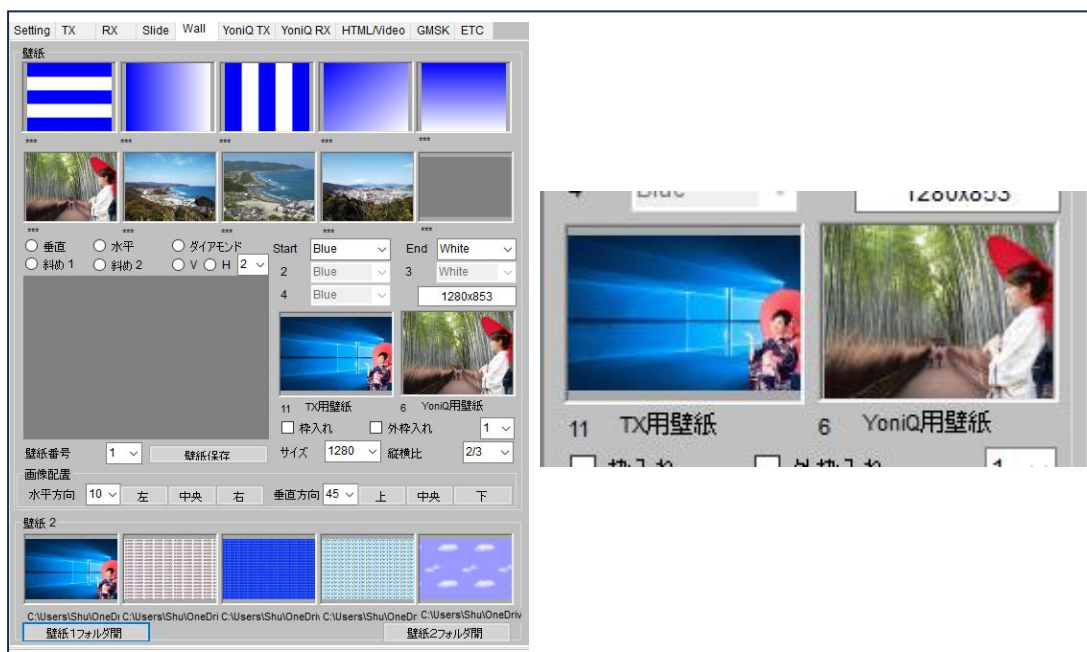


図 15

## 画像配置 フレーム (枠)

Wall タグで図 16 の通り送信画像の表示位置を決める → ※1

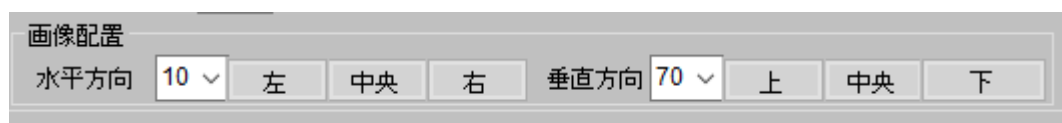


図 16

※1 → TX タグを開く → 図 18 の①を図 17 のように設定する → ※2

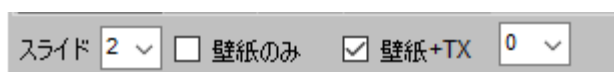


図 17

※2 → 図 18 のように送信画像が出来上がる。



図 18

[ここをクリックして](#)、本文に戻る



# APPENDIX-4

## 運用組み合わせスクリーンショット

### 1. JTDX(FT8)と Peanut を組み合わせた運用



図-1

### 2 JTDX(FT8)と Client Peanut を組み合わせた運用

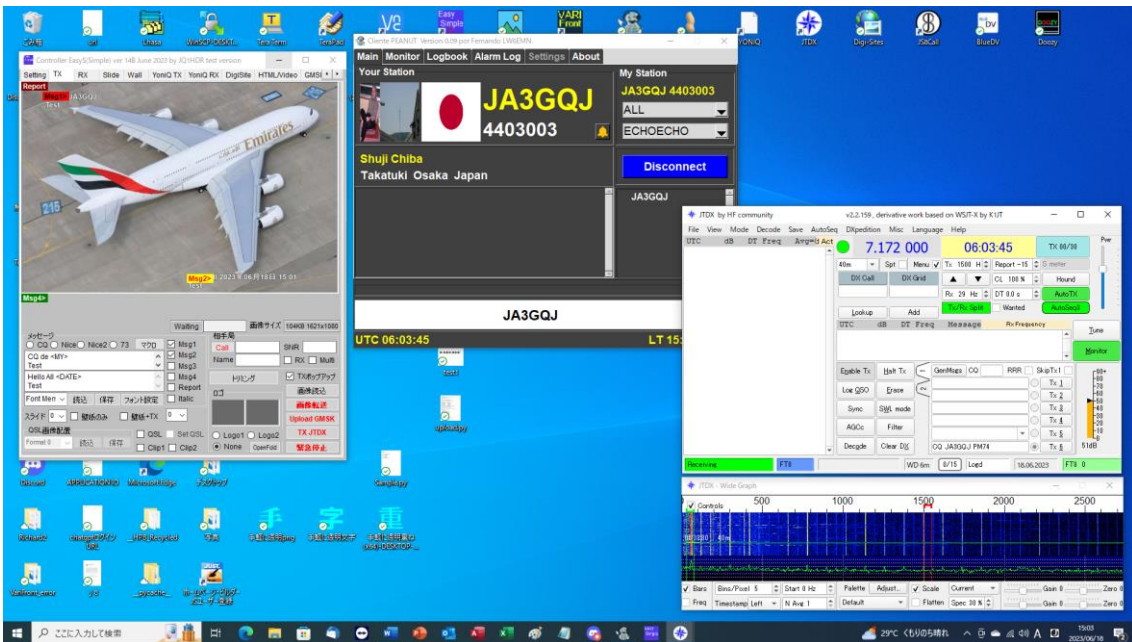


図-2



### 3 JTDX(FT8)と Discord を組み合わせた運用

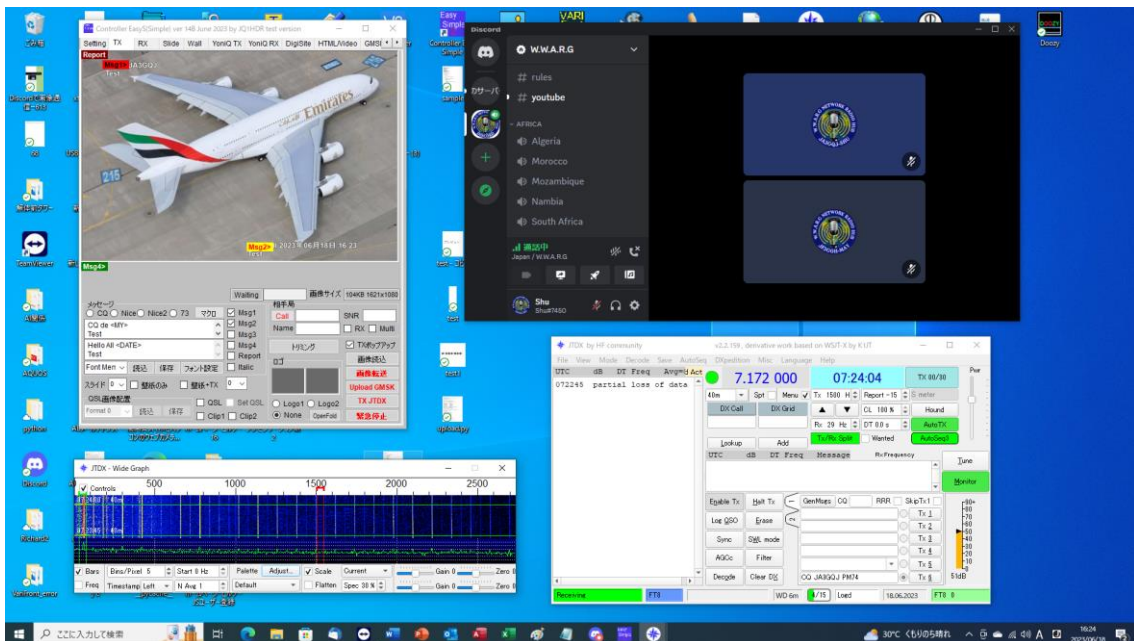


図-3

### 4 JS8call と peanut を組み合わせた運用

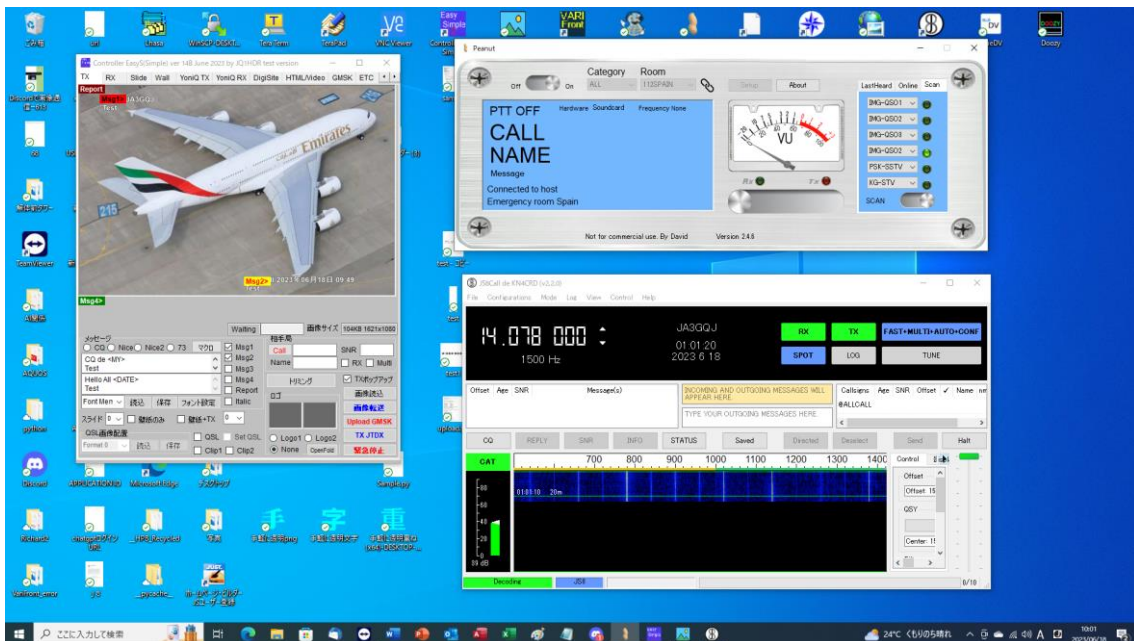


図-4

## 5. JS8call と Client peanut を組み合わせた運用

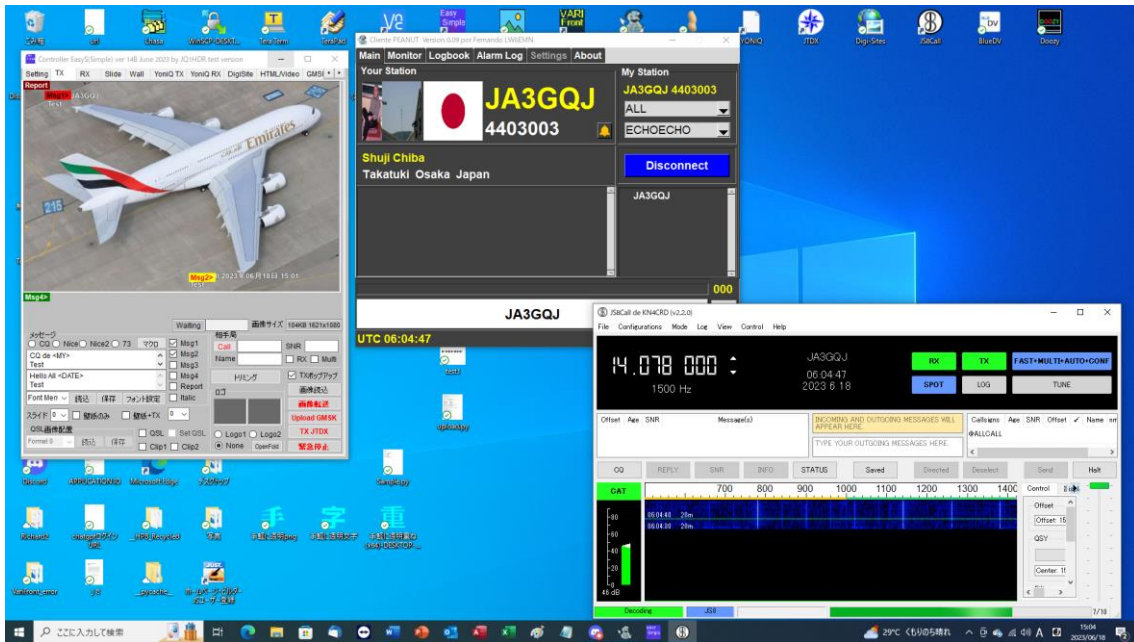


図-5

## 6. JS8call と Discord を組み合わせた運用

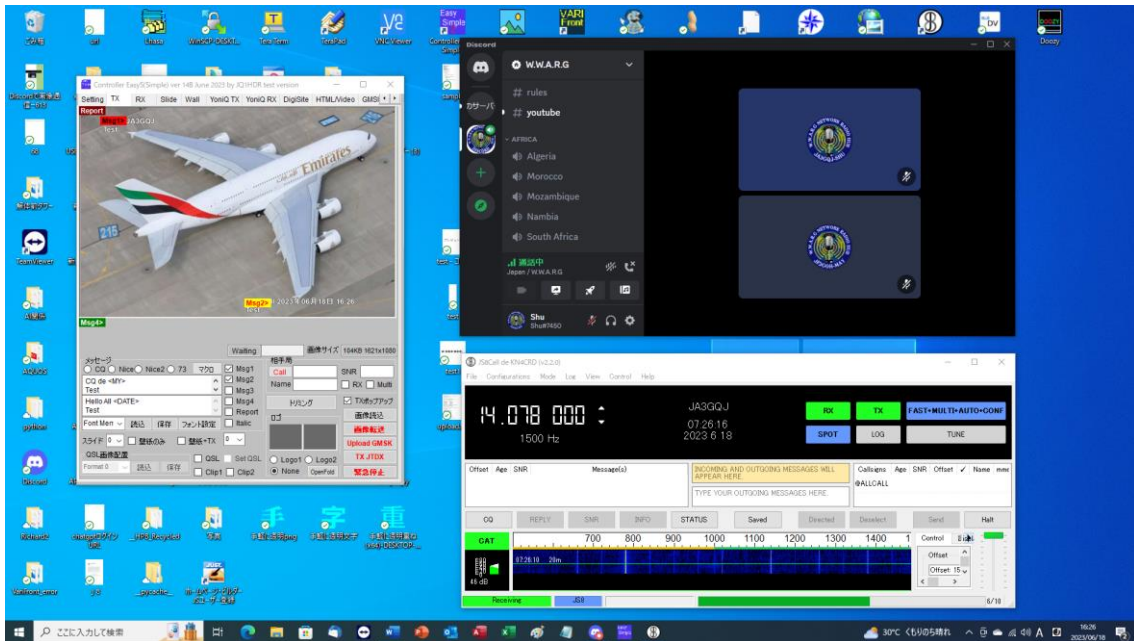


図-6

## 7 Vari image Front と Peanut を組み合わせた運用

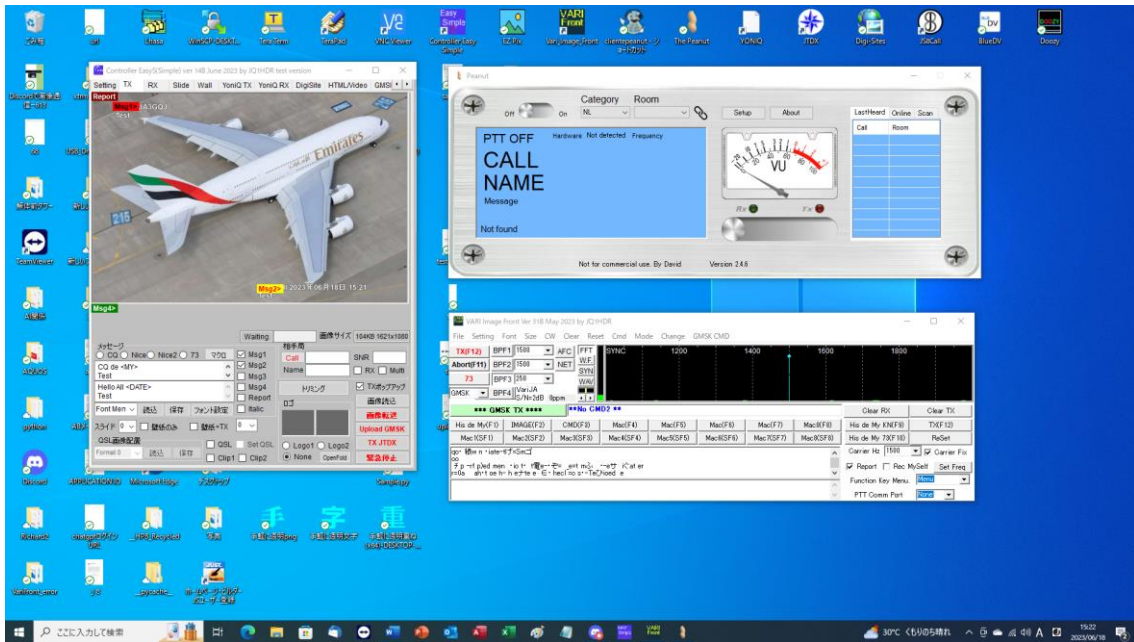


図-7

## 8 Vari image Front と Client Peanut を組み合わせた運用

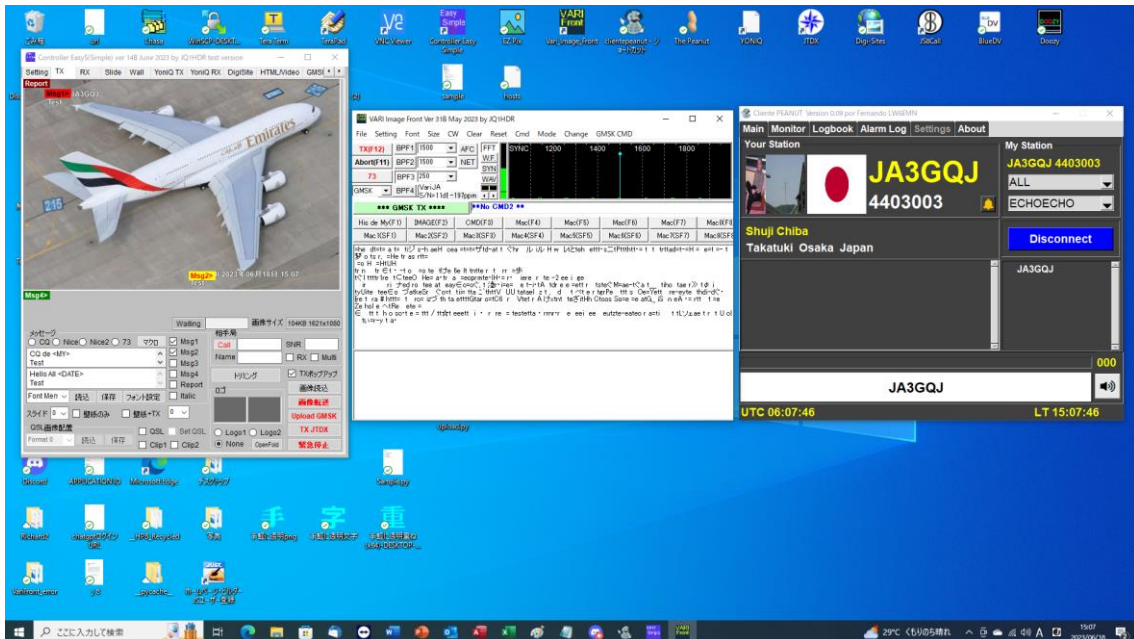


図-8



## 9 Vari image Front と Discord を組み合わせた運用

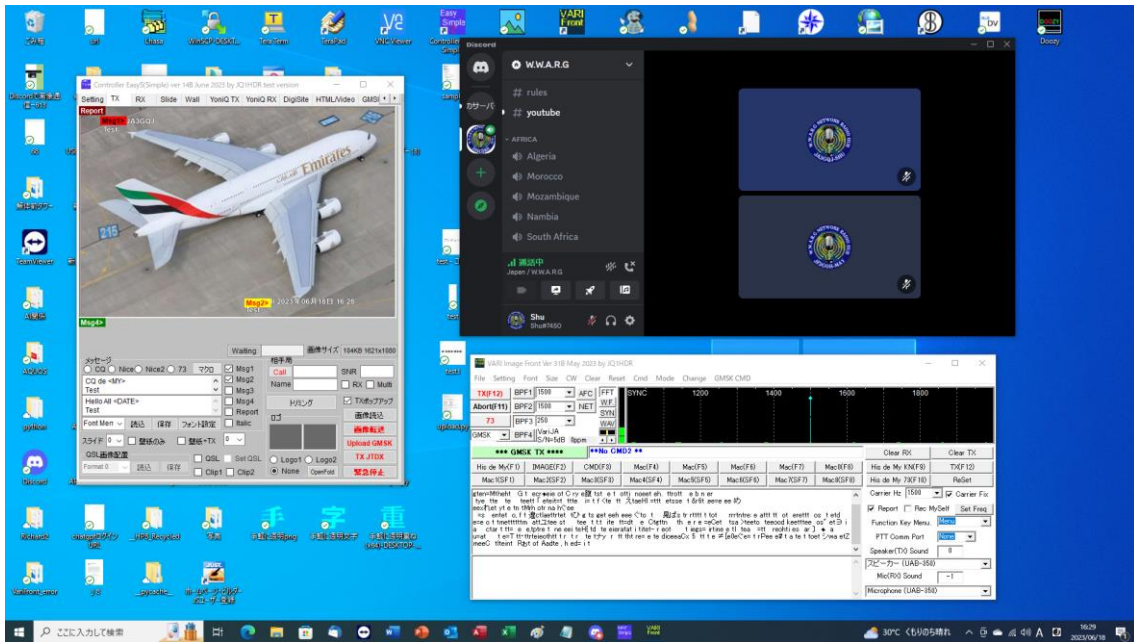


図-9

## 10 EZPix と Peanut を組み合わせた運用

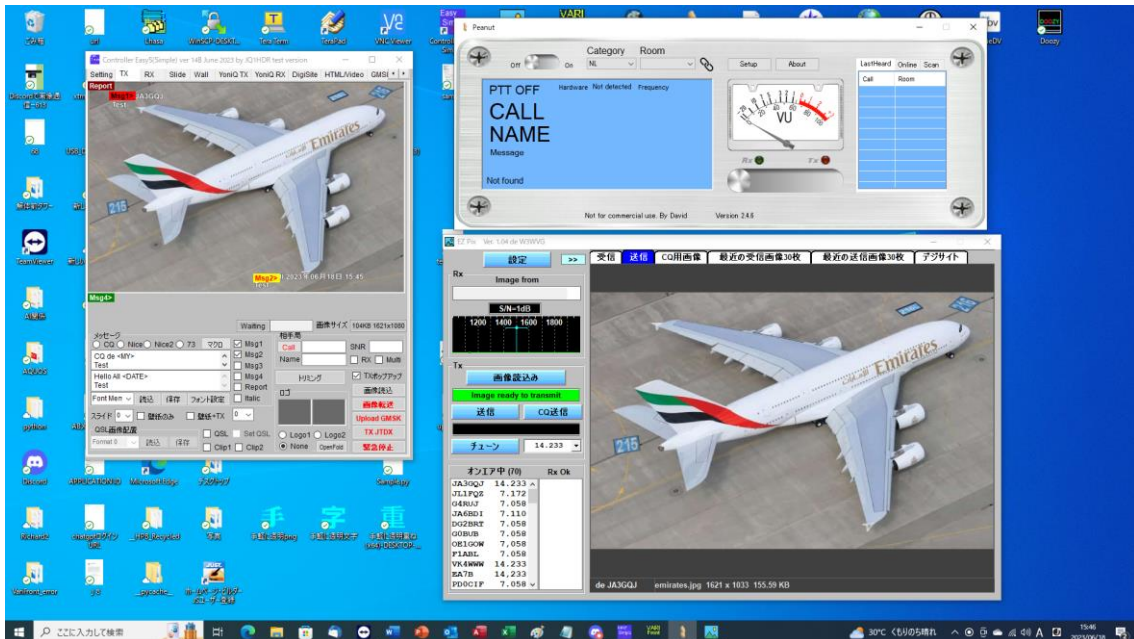


図-10

## 11 Vari image Front、EZPix と Peanut を組み合わせた運用

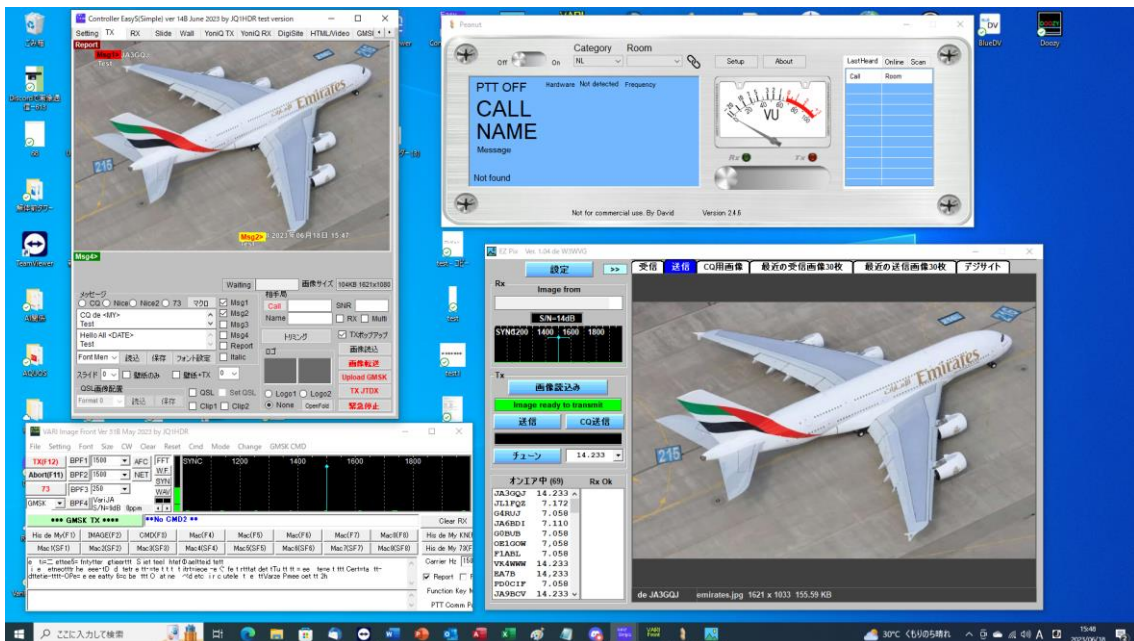


図-11

## 12 EZPix と Client Peanut を組み合わせた運用

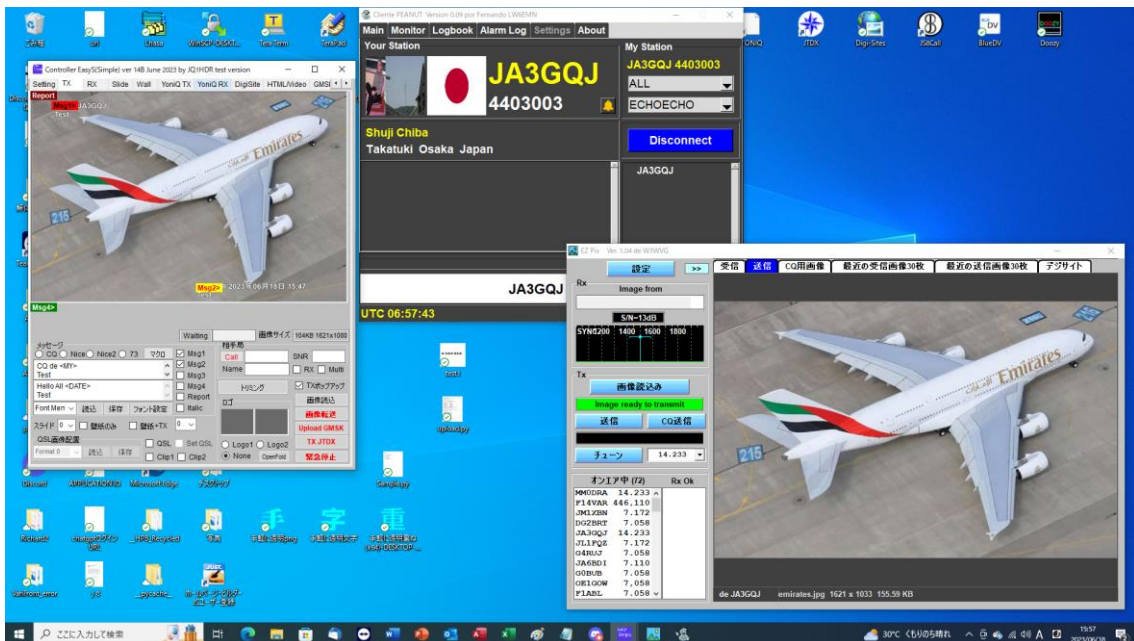


図-12



### 13 Vari image Front、EZPix と Client Peanut を組み合わせた運用

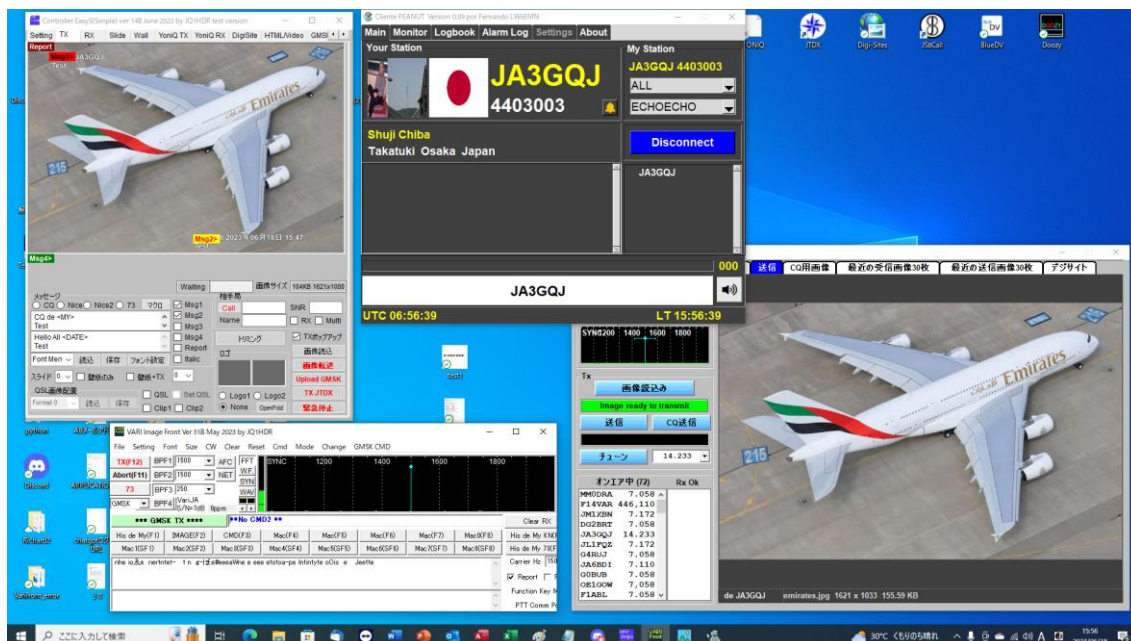


図-13

### 14 EZPix と Discord を組み合わせた運用

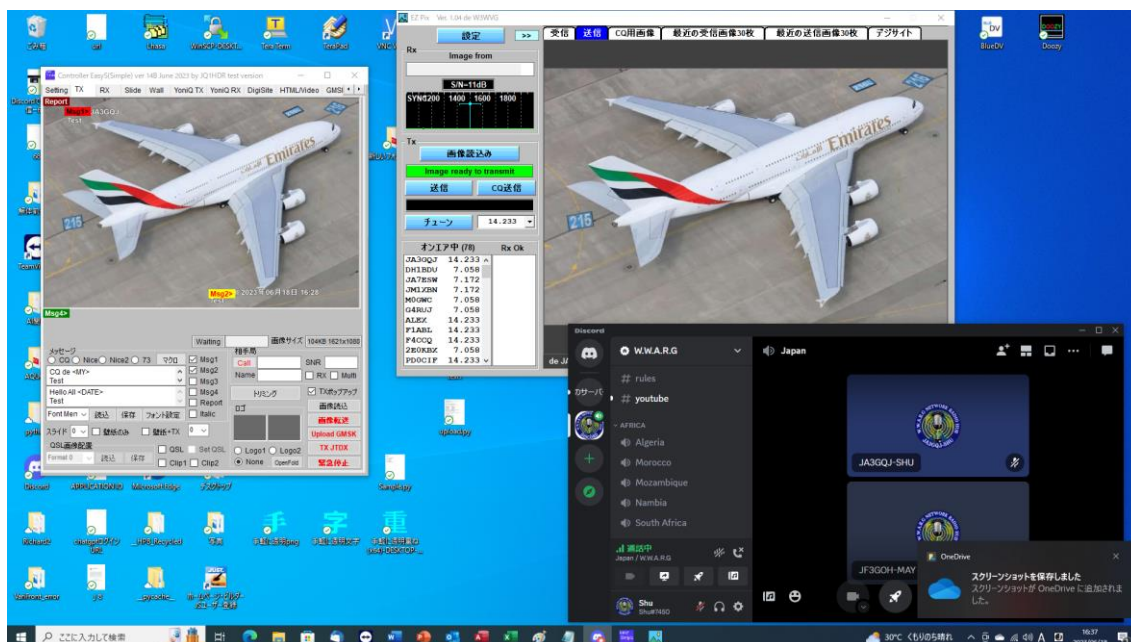


図-14

## 15 Vari image Front、EZPix と Discord を組み合わせた運用

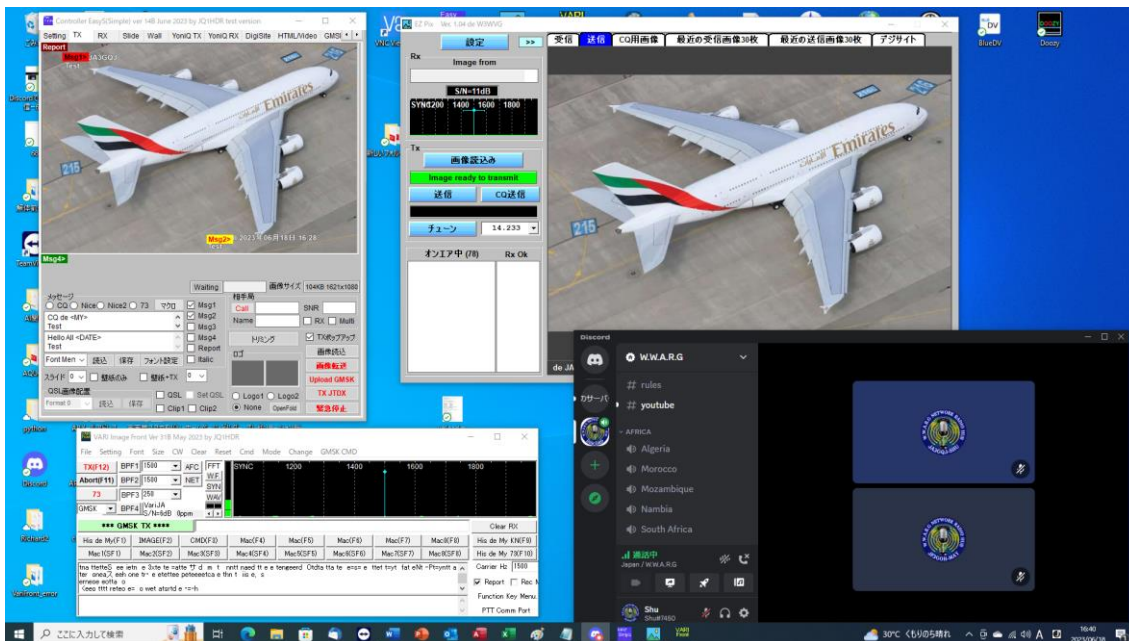


図-15

## 16 MMSSTV・YoniQ と Peanut を組み合わせた運用



図-16



## 17 MMSSTV・YoniQ と Client Peanut を組み合わせた運用

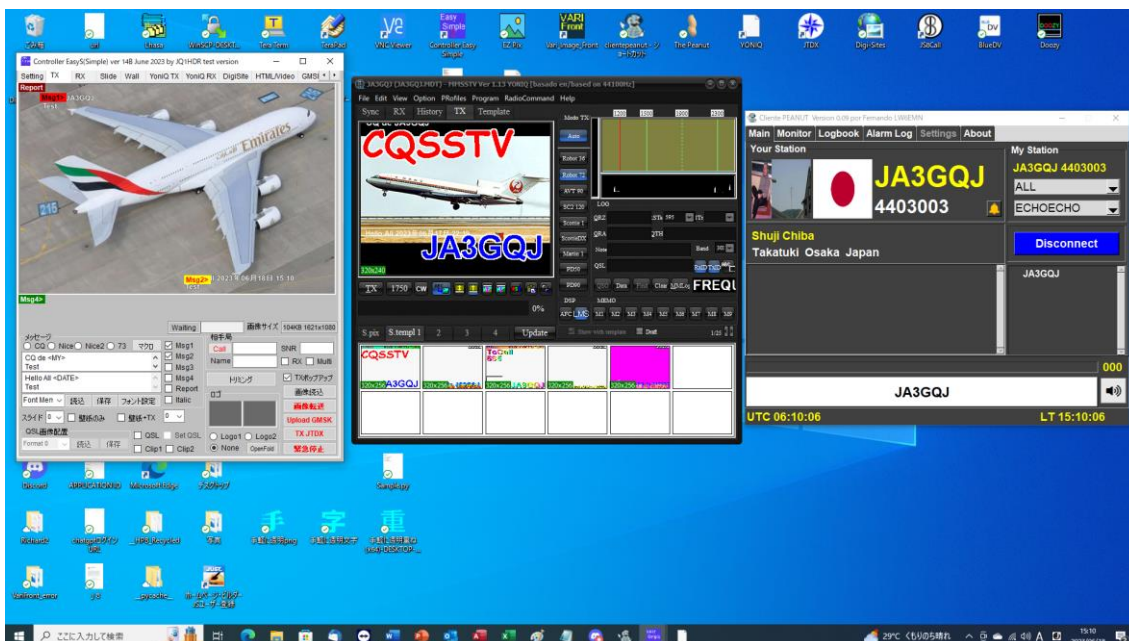


図-17

## 18 MMSSTV・YoniQ と Discord を組み合わせた運用

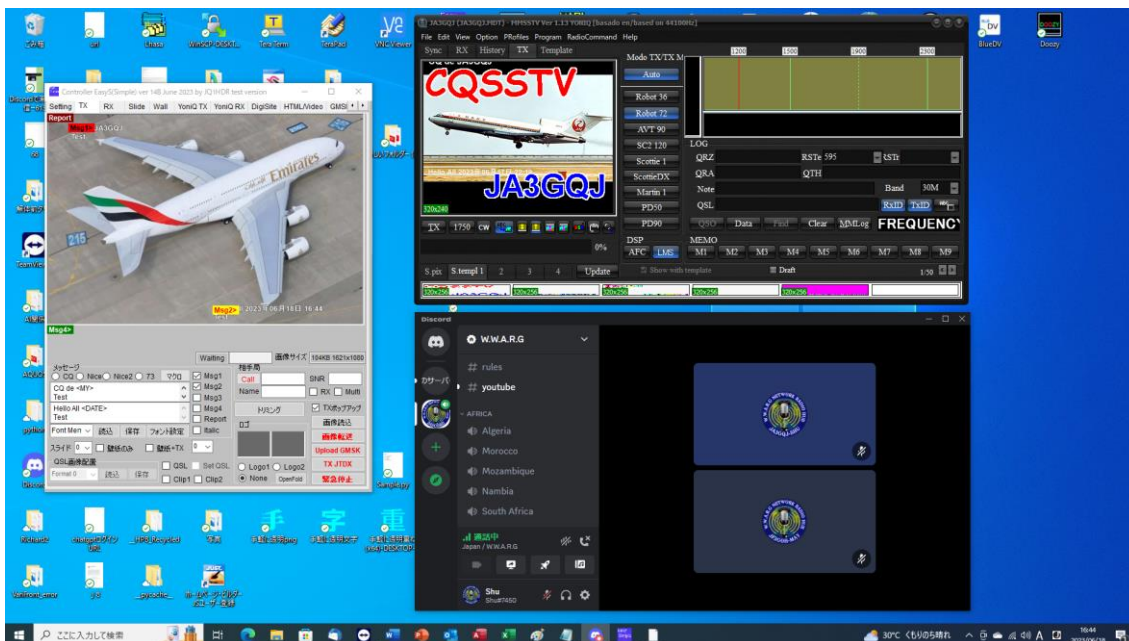


図-18

例外: MMSSTV・YoniQ と EZPix は Image Controller Easy Simple との抱き合わせなしでも運用できる。

[ここをクリックして](#)、本文に戻る

APPENDIX-2 終わり